

現 場 説 明 書

1 工 事 名 揚水管管体調査工事
2 監 督 員 技術部 水道施設課

説 明 事 項

1. 入札等に関する事項について

- (1) この工事の入札又は見積(以下「入札等」という。)は、工事請負契約書又は工事請負請書(以下「契約書等」という。)、入札公告又は指名競争入札執行通知書及びこの説明書に記載する条件により、横須賀市上下水道局契約規程によりその例によることとされている契約規則、契約履行規則及び工事等検査規則(以下「契約規則等」という。)に従って行う。
- (2) 入札等後は、設計書、仕様書及び図面(この説明書及び質問回答書を含む。以下「設計図書」という。)、契約書等若しくは契約規則等の内容又は工事場所の状況について、不明等を理由として異議の申立てはできないので、入札等前に十分充明すること。

2. 契約の保証について

契約の保証	要	平要
契約の保証を付す場合は、落札者は、契約書等の案を提出するとともに、次の各号のいずれかの書類を提示又は提出すること。ただし、契約保証金の額、保証金額又は保険金額は、請負代金額の100分の10以上とすること。		
(1) 契約保証金の納付を証する領収書		
(2) 契約保証金に代わる担保としての国債又は地方債等		
(3) 債務の不履行により生ずる損害金の支払を保証する銀行、横須賀市上下水道事業管理者が確実と認める金融機関又は公共工事の前払金保証事業に関する法律(昭和27年法律第184号)第2条第4項に規定する保証事業会社の保証書		
(4) 債務の履行を保証する公共工事履行保証証券による保証証券		
(5) 債務の不履行により生ずる損害をてん補する履行保証保険契約の証券		

3. 前払金について

前払金	する	しない
前払金を受けようとする場合は、その旨を申し出ること。		

4. 中間前払金について

中間前払金	する	しない
中間前払金を受けようとする場合は、申請手続が必要なので、要件を満たした旨を申し出ること。		

5. 部分払について

部分払	する(回以内)	しない
-----	---------	-----

6. 繼続事業に係る工事の各会計年度別支払限度額及び前払金について

- (1) 繼続事業に係る工事の各会計年度における請負代金額の支払限度額及び前払金の上限割合は、次のとおりである。

会計年度	支払限度額 (請負代金額に対する割合)	前払金の上限
初 年 度 (年度)	— %	支払限度額 • 請負代金額 の — %
第 2 年 度 (年度)	— %	支払限度額 • 請負代金額 の — %
第 3 年 度 (年度)	— %	支払限度額 • 請負代金額 の — %

- (2) 各会計年度における請負代金額の支払限度額は、請負者決定後工事請負契約書を作成するまでに請負者に通知する。

7. 契約に関する事項について

(1) 設計図書関係

- ア 土木工事等の場合における工種別等の契約数量は、設計書の数量の内訳書に表示された数量による。
- イ 仮設、工法等工事目的物を完成するため必要な一切の手段については、設計図書に特別の定めがある場合を除き、請負者の責任において定めること。
- ウ 契約の締結にあたっては、契約書等に設計図書を袋とじし、割印をすること。ただし、図面が大型等の場合にあっては、別冊とすること。

(2) 提出書類関係

ア 請負代金内訳書	要提出(契約締結後 7 日以内) 提出不要
イ 工 程 表	要提出(契約締結後 7 日以内) 提出不要
ウ 着 手 届	着手後 5 日以内に提出すること。
エ 現場代理人及び主任技術者等届	契約までに現場代理人及び主任技術者等の経歴書も同時に提出すること。
オ 下請負関係書類	下請負を発注の都度、下記書類の写しを提出すること。 <ul style="list-style-type: none">・施工体制台帳・施工体系図・再下請負通知書（再下請負の発注がある場合）
カ 直 営 工 事 届	下請負を発注しない又はその予定がない場合は、遅滞なく提出すること。

(3) 監督員通知関係

監督員を2人以上置くこととした場合において、権限を分担させるときは、各監督員の権限の内容を別に通知する。

(4) 支給材料、貸与品関係

ア 支 給 材 料	あり	なし
イ 貸 与 品	あり	なし

(5) 条件変更等の関係

工事の施行に当たり、設計図書と現場の状態とが一致しないこと等の事実を発見したときは、単に事実関係のみでなく、設計図書の訂正に必要な資料、図面等を添付した書面で通知すること。

(6) 設計変更等の関係

必要により工事内容を変更する場合は、原則としてその必要が生じた都度契約変更の手続を行うが、軽微なものは監督員の指示により工事内容の変更を行い、これに伴う契約変更の手続は、工期の末に行う。

(7) 部分引渡し関係

部分引渡し指定部分	あり	なし
-----------	----	----

(8) 火災保険等の関係

火災保険その他の保険の付保条件	あり	なし
-----------------	----	----

8. 現場代理人の常駐義務について

請負代金額が500万円以上の工事について現場代理人は常駐とするが、横須賀市ホームページ > 入札の広場 > 工事 > 入札制度関連情報<工事>において、重複配置の特例がある場合は兼務することができる。

9. コリンズの登録について

請負者は、受注時又は変更時及びしゅん工時において請負代金額が500万円以上の工事について、工事実績情報サービス(CORINS)入力システムに基づき、監督員に登録内容の確認を受けた後に、(一財)日本建設情報総合センターに登録申請しなければならない。

また、(一財)日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書」が請負者に届いた際には、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。

登録申請の期限は、次のとおりとする。

- (1) 受注時登録データの提出期限は、契約締結後10日以内とする。
- (2) しゅん工時登録データの提出期限は、しゅん工後10日以内とする。
- (3) 施工中に受注時登録データの内容に変更があった場合は、変更があった日から10日以内に変更データを提出しなければならない。
- (4) 変更時としゅん工までの間が10日間に満たない場合は、監督員の承諾を得て変更時の提出を省略できるものとする。

10. 建設業退職金共済制度への加入について

- (1) 請負者は、建設業退職金共済（以下「建退共」という。）に加入するとともに、その建設業退職金共済制度の対象となる労働者について証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に証紙を貼り付けること。
- (2) 請負者は、当初請負代金額が500万円以上の場合は、建退共の発注者用掛金収納書を貼った「建設業退職金共済証紙購入状況報告書」（第1号様式（建退共））、「建設業退職金共済関係提出書」（第2号様式（建退共））、「建設業退職金共済証紙貼付実績報告書」（第3号様式（建退共））を工事しゅん工時に監督員に提出すること。ただし、この制度に代わる退職金共済等に加入している場合又は対象労働者がいない場合については、内容を記載した「確認書」（第4号様式（建退共））を契約締結後1箇月以内に監督員に提出すること。
なお、当初請負代金額が500万円未満の場合においても本市が証紙購入状況を把握する必要があると認めるときは、関係資料を提出しなければならない。
- (3) 下請契約を締結する際は、当該下請負者に対してこの制度の趣旨を説明し、掛金相当額を下請代金中に算入するか、又は共済証紙の現物交付をすることにより、当該下請負者の建退共加入並びに証紙の購入及び貼付の促進に努めること。
- (4) 下請負者の規模が小さく、管理事務の処理面で万全でない場合、元請負者は建退共加入手続及び建退共関係事務の処理について、下請負者からの依頼には積極的に受託するよう努めること。
- (5) 請負者は、工事現場に建設業退職金共済制度適用事業主の工事現場であることを明示する標識を掲示すること。
- (6) 正当な理由がなく建退共に加入せず、又は証紙の購入若しくは貼付が不十分な請負者は工事成績評定において考慮される事となる。

11. 施工計画書の提出について

(1) 施工計画書の作成

請負者は、契約後速やかに監督員の指示に従って施工計画書を作成し提出すること。ただし、監督員が別に指示する場合を除いて、次のいずれかに該当する工事については、提出を要しない。

- ア 当初請負代金額が 500 万円未満の工事、又は当初工期が 60 日未満の工事
- イ 契約後、直ちに現場着手を要する等の緊急工事
- ウ 工事内容に基づき、監督員が提出を要しないと判断した工事

(2) 施工計画書の記載事項等

施工計画書等記載事項は、横須賀市ホームページ > 入札の広場 > 検査情報に記載（別表）のとおりとする。

ただし、請負者は、施工計画書の提出を不要とした工事であっても、監督員が必要と指示する書面を速やかに提出すること。

(3) 計画工程表の作成

請負者は、計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督員と協議を行うこと。

(4) 実施工程との比較照査

請負者は、工事施工中において、問題が発生した場合又は計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督員へ報告すること。

12. ワンデーレスponsの取り組みについて

(1) 本市では、請負者からの質問、協議に対して、基本的に「その日のうち」に回答するよう、ワンデーレスponsに取組んでいる。

なお、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを請負者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。

(2) 発注者が効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、請負者は協力すること。

13. 中間及び抜打ち状況調査の実施について

中間状況調査又は抜打ち状況調査は、検査員が隨時行う。この場合、請負者は調査に協力しなければならない。

14. 下請負者について

- (1) 下請負者を使用する場合には、市内業者を優先的に選定するように配慮すること。
- (2) 下請契約を締結する際は、当該下請負者に対して法定福利費の内訳が明示された国の標準見積書等の提出を指導するとともに、提出された場合は尊重し、適切な法定福利費を含んだ契約を締結すること。

15. 一括下請けの禁止について

請負者は、本工事の全部若しくはその主たる部分又は他の部分から独立してその機能を發揮する工作物の工事を一括して第三者に委任し、又は請け負わせてはならない。

16. 技術的事項について（別紙）

揚水管管体調査工事 特記仕様書

本工事の仕様は、当局水道工事共通仕様書（平成 28 年 10 月）に定められたもののほか、当特記仕様書によるものとする。なお、共通仕様書内の付編Ⅱ及び付編Ⅲについては、水道工事共通仕様書 付編書式（平成 29 年 12 月）を参照すること。

1 工事コストの表示について

- (1) 工事請負額 1,000 万円以上の工事を対象とする。
- (2) 工事請負額の表示は、工事現場に設置する「工事看板」に表示する。
- (3) 表示金額は、万円単位など分かりやすい単位とする。

2 公共建設発生処分について

(1) 受入場所

処分地等の名称：UCR（久里浜港）

場 所：横須賀市久里浜 8 丁目 2567 番 62

(2) 受入日時

受入日：月曜日から金曜日の平日

（土曜日・日曜日・祝祭日・旧盆・年末年始は、休業です。）

受入時間：8：00～17：00

※悪天候、突發的事故により受入れが停止または、制限される場合がある。

(3) 受入単価

名 称：土砂受入処分料（指定処分）

規格 1：普通土砂（久里浜 UCR 処分場）

規格 2：処分費の対象

単 価：地山 1 m³あたり 3,970 円

(4) 久里浜 UCR 受入地に指定された地質分析等試験

地質分析等試験は、試料採取から分析、結果証明までを同一の分析会社が行うこと。

3 土砂検定費等について

土砂検定費（1～28 項目一括実施）、土砂検定費（ヒ素+銅）及び六価クロム溶出試験の単価には、諸経費、技術料及び報告書作成の一切の費用を含むため、その他の間接費の対象とならない。

4 共通仮設費の対象外となる杭等購入費について

杭等購入費 あり なし

5 数値基準、単価世代及び積算参考資料について

数値基準、単価世代及び積算参考資料については、上下水道局ホームページ→事業者の皆さまへ→請負工事に関する各種書類のダウンロード→上水道→水道工事積算単価関係内の「【重要】水道工事の数値基準等について」を参照すること。

6 共通単価について

共通単価については、上下水道局ホームページ→事業者の皆さまへ→請負工事に関する各種書類のダウンロード→上水道→水道工事積算単価関係内の「共通単価一覧表」（設計書摘要欄に記載のあるコード番号が A、B、K、L、N、P、R から始まるもの）を参照すること。

7 施工パッケージ型積算について

- (1) ダンプトラックの東京単価は、タイヤ損耗費及び補修費を含んだ金額が設定されているため、積算単価も建設機械等損料表の損料金額にタイヤ損耗費及び補修費を加算した金額で計上している。
- (2) 単価表摘要欄に「積算単価計上なし」と記載されている場合は積算単価を0円としている。
- (3) 表層工などの一位代価表の<条件区分>の【材料】、【〇〇規格】に記載している材料は、東京単価を算出するための代表材料を記載している。
※材料の積算単価は、一位代価表の規格欄・摘要欄に記載した材料である。
- (4) 施工パッケージ型積算方式による一位代価表の積算注意事項は、局ホームページの「施工パッケージ型積算方式による積算」を参照すること。

8 個人情報資料の借用について

工事に必要な個人情報に関する資料の借用にあたっては、以下の内容を明記した借用願い（様式あり）を担当課長あてに提出すること。

- (1) 借用期間
- (2) 借用する個人情報資料の項目
- (3) 個人情報の管理に関する責任者、個人情報を取り扱う工事従事者
- (4) 貸出条件(取り扱いにあたる注意事項等)
- (5) その他監督員が必要とする事項

9 工事にすることについて

(1) 身分証明書の提示

請負者は顔写真、氏名、有効期限等を記載した身分証明書を発行し、給水管接続替調整工等の業務に従事する者に身分証明書を常時携帯させなければならない。

上記業務に従事する者は、水道使用者等の住居その他を訪問する場合はこれを提示すること。また、監督員から請求があったときもこれを提示すること。

(2) 給水管接続替調整工の作業内容

ア 給水台帳の確認

イ 現場調査(メータ位置の確認、メータ内給水管材質の確認、宅内路面状況の確認)

ウ 居住者及び土地所有者への工事説明及び掘削等の確認

エ 上記ア.イ.ウの実施(宅地内鉛給水管取替工事)内容の整理及び監督員への報告確認

作業

オ 宅地内工事が別の請負者の場合は同業者への説明

カ 宅地内工事等に関する給水管接続替図及び土地使用承諾図の作成

(3) 試掘調査及び既設埋設物の近隣掘削について

舗装取りこわし工等を除き試掘調査及び既設埋設物の近隣掘削については、安全施工の観点から人力施工とする。ただし、状況により機械施工を行う場合は監督員と事前協議すること。

10 舗装版切断時に発生する濁水の処理について

(1) 処理方法

舗装版切断作業時に発生した濁水については、産業廃棄物の汚泥として処理すること。

(2) 条件

請負者は、産業廃棄物の汚泥の処分業許可を得ている業者と委託契約を締結しなけ

ればならないものとする。

また、請負者が、自ら運搬を行う場合を除き、産業廃棄物の汚泥の収集運搬業許可を得ている業者と委託契約を締結しなければならないものとする。

(3) 提出書類等

請負者は、施工計画書に舗装版切断時に発生する濁水の収集・運搬・処分に関する計画書、請負者と処分業者とで締結した委託契約書の写し及び処分業者の許可証の写しを添付すること。

また、請負者が濁水の収集運搬を委託した場合は、請負者と収集運搬業者とで締結した委託契約書の写し及び収集運搬業者の許可証の写しを添付すること。

なお、請負者は、産業廃棄物管理票（紙マニフェスト）又は電子マニフェストにより、適正に処理されていることを確かめるとともに、監督員に提示しなければならない。

11 CX形ダクタイル鉄管工事における有資格者条件について

CX管の接合は、「水道工事共通仕様書ダクタイル管の接合有資格者」の資格要件に加え、指導員又は指導員の指導を受けた者が行うこと。なお、指導員の氏名及び経歴等については、あらかじめ監督員の承諾を得ること。

(1) 指導員

指導員は、以下、ア～エのうち、いずれかを満たす者とする。

- ア 局が平成25年11月に実施したCX形ダクタイル鉄管施工講習会の受講者
- イ 平成26年度以降の日本水道協会による配水管技能講習会受講者
- ウ 平成24年度以降の日本ダクタイル鉄管協会による継手接合研修会受講者
- エ CX管製造会社の技術職員

(2) 指導員による指導

CX管の構造及び施工に精通した技術者による技術指導（社内講習会等）を、施工前及び施工中において、各1回以上実施し、配管技術者の技術の習得と管理に努めること。また技術指導の状況写真（過去の指導実績でも良い）を実施毎に各1枚撮影し、しゅん工時に提出すること。

技術指導する技術者名（身分証の写し等）、技術指導の内容（メニュー、実施時期等）については施工計画書に記載し、事前に監督員の承諾を得ること。

※参考（技術指導の例）

CX管の特性・構造、CX管接合・挿入量測定、切り管加工、チェックシートの記入等の技術指導をいう。

12 別途発注される測量業務について

- (1) 請負者は、本工事施工前に測量業務受託者と契約後速やかに打合せを行い、請負者が責任をもって測量の工程が記入された実施工程表を作成すること。
- (2) 請負者は、工事に伴い境界標等の移設（撤去）が生じた場合は、引照杭を設け、測量業務受託者の確認を受けること。
- (3) 測量業務受託者の行う境界標等の移設（撤去）及び復元に際しては、原則として本工事の現場代理人が立ち会って確認すること。

13 建設副産物実態調査の作業手順（元請業者が行う）について

- (1) 一般財団法人日本建設情報総合センターのホームページアドレス

<http://www.recycle.jacic.or.jp/> から建設副産物情報交換システムにログインする。

システムの操作方法については、「各種マニュアル」ページ内の「建設副産物情報交

換システム」の操作マニュアル「排出事業者用」を参照する。

- (2) 当初契約時点でのデータを入力する。（「再生資源利用(促進)計画書—建設リサイクルガイドライン様式一」の作成）
- (3) CREDASの各種書類の印刷により、「再生資源利用(促進)計画書—建設リサイクルガイドライン様式一」を印刷し、施工計画書に添付する。
- (4) 工事完成時に実施書（最終データに修正）に書き換える。
- (5) 工事検索画面から当該工事を検索し、「登録証明書の印刷」により「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」を印刷し、監督員に提出する。
- (6) CREDAS の各種書類の印刷により「再生資源利用（促進）実施書—建設リサイクルガイドライン様式一」を印刷し、監督員の確認を受ける。
- (7) 完成図書に「再生資源利用(促進)実施書—建設リサイクルガイドライン様式一」を添付する。

14 基準書等の適用について

本工事は、以下の基準書等を使用し、積算している。

1) 水道事業実務必携	平成 30 年度版
2) 土木工事標準積算基準書（土木工事編）	平成 30 年 7 月 1 日版
3) 積算参考資料（土木工事編）	平成 30 年 7 月 1 日版
4) 建設機械等損料表	平成 30 年度版
5) 下水道用設計標準歩掛表	
第 1 巻 管路	平成 30 年度版
第 2 巻 ポンプ場・処理場	平成 30 年度版
第 3 巻 設計委託	平成 30 年度版

15 市場単価及び標準単価の端数処理について

市場単価及び標準単価方式による単価表の加算・補正後の金額は、円止めとする。

なお、単価補正が行われた場合の単価についても円止め（小数点以下切り捨て）として計算し、数量×単価=金額を算出している。

16 しゅん工検査時に必要な書類について

しゅん工検査時は「管路工事しゅん工図書等提出物一覧表で指定している図書」及び、「工事履行報告書」を作成し、提出すること。なお、「工事履行報告書」は請負金額 500 万円以上の場合のみ提出すること。

- 1) 管路工事しゅん工図書等提出物一覧表
横須賀上下水道局 水道工事共通仕様書 平成 28 年 10 月の別冊
- 2) 工事履行報告書
横須賀市ホームページ>市政情報>入札・契約・検査>検査情報>土木工事関係書類一覧表

17 その他

上記の内容について疑義が生じた場合は、別途監督員と協議するものとする。

管体調査仕様書

(一般事項)

- (1) 請負者は、計画書に調査箇所、調査範囲、調査順序等を定め、事前に監督員の承諾を得た上で調査に着手する。
- (2) 調査範囲は、交通規制、埋設物等現地状況を考慮し、事前に監督員と協議し決定すること。作業時間の制約や近接埋設物等の支障がない場合、原則、管周全面を調査範囲とする。
- (3) 請負者は、調査に当たり、騒音規制法及び振動規制法等の公害防止関係法令の定める規制基準を遵守するために必要な措置を講じる。
- (4) 調査に当たり、道路その他の工作物を汚損させない。汚損させた場合は、終了の都度、洗浄・清掃する。
- (5) 調査終了後は、速やかに使用機器や仮設物等を搬出し調査箇所の清掃を実施する。
- (6) 請負者は、調査において異常を発見し、それが水道施設及び交通、付近住民に危害を及ぼす可能性があるなど、緊急な対応が必要と考えられる場合は、直ちに監督員に連絡し、その指示を受ける。
- (7) 請負者が、監督員の指示に反して調査を続行しようとした場合及び監督員が事故防止上危険と判断した場合は、調査の一時中止を命ずることがある。
- (8) 交通管理者及び用地管理者との協議により、施工時期、作業時間の制約があった場合は厳守すること。また、用地の通行に支障がないよう調整を行うこと。
- (9) 用地のカギの借用等においては監督員と協議すること。

(調査内容)

(1) 計画書

請負者は、調査にあたり事前に次の事項を記載した計画書を提出する。

- ①調査概要
- ②現場組織（職務分担、緊急連絡体制等）
- ③調査計画（調査方法、実施工程、使用機器等）
- ④安全計画（保安対策、道路交通の処理方法、酸欠対策等）

(2) 調査機材

請負者は、調査に使用する機材を常に点検し十分な整備をしておく。

(3) 調査作業時間

調査作業実施時間については、道路使用許可条件等を厳守する。

(4) 土壤分析（埋設環境調査）

- ① 埋設状況の調査は、土被り、埋戻し状況、土質、土色について調査し写真撮影を行う。
また、地下水が認められた場合は、水位を測定する。
- ② 写真撮影においては、後日、土色が判定できるように留意する。
- ③ 鋼管については、鉄道からの離隔や近接物の有無について調査する。
- ④ 土壤については、調査範囲が管周半面の場合は管頂及び管側、管周全面の場合は管頂、管側、管底から複数採取すること。採取位置については、図1のとおりとする。採取した土壤及び作成した土壤抽出水について表1の項目を測定する。地下水が認められた場合には、地下水も測定する。測定結果は、ANSI A 21.5-2010により土壤の腐食性評価を行う。測定の方法については、表2及び表3によるものとする。

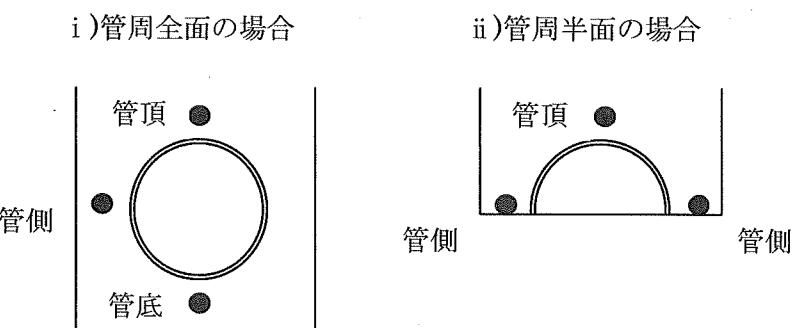


図1 土壤及び地下水の採取位置

表1 土壤及び地下水の測定項目

土壤試料	測定項目
土壤	土質、土色、比抵抗、pH値、Redox電位、水分（含水比）、硫化物の有無、硫黄含有率
土壤抽出水	比抵抗、pH値、硫酸イオン含有量、塩素イオン含有量、蒸発残留物
地下水	比抵抗、pH値、硫酸イオン含有量、塩素イオン含有量、蒸発残留物

表2 土壤の測定方法

測定項目	測定方法
土質、土色	目視による（標準土色帖「農林水産省農林水産技術会議事務局監修」）
比抵抗 (土壤抵抗率)	土壤箱法（電食防止・電気防食ハンドブック）2電極法による
pH値	地盤工学会基準 JGS 0211-2009：土懸濁液のpH試験法による
Redox電位 (酸化還元電位)	土壤環境分析法 第V章2. 白金電極法による
水分（含水比）	JIS A 1203-2009：土の含水比試験法による
硫化物定性 (硫化物の有無)	ヨウ素・アジ化反応による
硫黄含有率	JIS Z 2616 赤外線吸収法による

表3 土壤抽出水及び地下水の測定方法

測定項目	測定方法
比抵抗 (土壤抵抗率)	上水試験方法-2011 10.2 電極法による
pH値	JIS Z 8802-2011 pH測定方法による
硫酸イオン 含有率	上水試験方法-2011 6.2 イオンクロマトグラフ法による
塩素イオン 含有率	上水試験方法-2011 3.2 イオンクロマトグラフ法による
蒸発残留物	上水試験方法-2011 11.2 蒸発残留物（重量法）による
酸度	上水試験方法-2011 14.3 酸度による
アルカリ度	上水試験方法-2011 14.2 アルカリ度による

(5) 管体調査

① 埋設管路の管対地電位、管対軌条電位を測定し、管路の埋設環境を調査する。測定項目は表4のとおりとする。

表4 埋設管路の測定項目

測定項目	備考
管対地電位 (P/S) 測定	10~15分間測定
管対軌条電位 (P/R) 測定	同時測定

② 管外面の付着物をワイヤーブラシやテストハンマー等で除去し目視により腐食状況を調査する。腐食深さはデプスゲージ(孔食計)で測定し、大きさ(長径×短径)をスケールで測定する。調査範囲及び分割形状は図2のとおりとする。

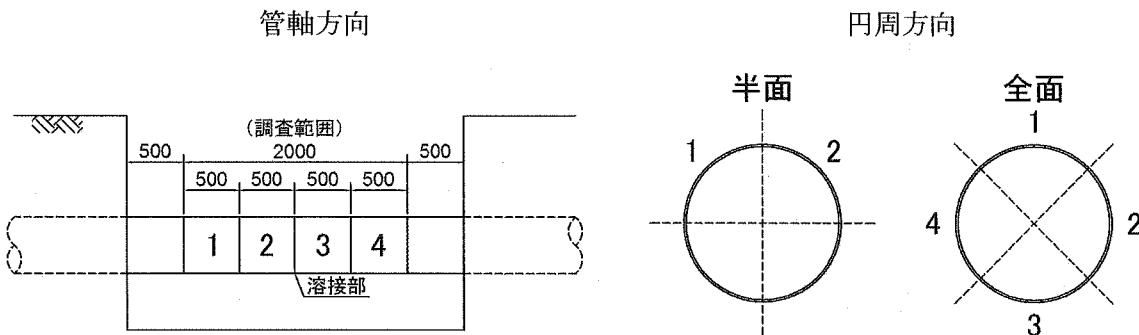


図2 調査分割形状

③ 管外面に腐食が生じていない位置で、健全部の管厚を超音波厚さ計で測定する。

測定箇所は同一円周上で3箇所以上とする。

(6) 劣化予測

管体調査によって測定した孔食深さの値と経過年数から腐食速度を算定する(式-1および式-2参照)。

$$\text{腐食速度} = \frac{\text{最大腐食深さ (mm)}}{\text{経過年数 (年)}} \quad \text{--- 式-1}$$

$$\text{破孔までの期間 (y)} = \frac{[\text{元の管厚 (mm)} - \text{最大腐食深さ (mm)}]}{\text{腐食速度}} \quad \text{--- 式-2}$$

また、求められた破孔までの期間から管路の老朽度ランクを評価する(表5参照)。

表5 塗覆装鋼管の老朽度ランク

老朽度ランク	破孔までの期間 y (年)	評価
I	$y \leq 5$	対策が必要
II	$5 < y \leq 10$	重点注意路線
III	$10 < y$	注意路線

(7) 管体評価

土壤分析、管体調査及び劣化予測によって得られた結果をもとに、埋設環境等による管体の評価を行う。

(成果品)

- (1) 請負者は、調査結果について報告書を作成し提出する。
- (2) 提出する成果は次のとおりとする。
 - ①報告書（記録表を含む）・・・A4版（金文字黒表紙製本）2部
A4版（ファイル）1部
 - ②写真帳・・・A4版（金文字黒表紙製本）2部
A4版（ファイル）1部
 - ③成果品すべての電子データ（記憶媒体：CD-R）・・・1式

施工条件明示事項

工事名 揚水管管体調査工事

- 当該工事の施工条件明示事項欄の、下記表□内黒塗り部分が作業に当って、特に制約を受けることになるので明示する。
又、明示されていない事項で請負者が、施工条件に該当すると思われる場合には、その都度監督員と協議すること。
- 明示事項内容及び参考欄の内、参考と記載している箇所は見積り参考数値で、作業制約条件ではない。

明示項目	明示事項	明示事項内容及び参考																										
■ 工程関係	<input type="checkbox"/> 他の工事の開始又は完了の時期による影響																											
	<input type="checkbox"/> 施工時期、施工時間及び施工方法の制限 (準備工期の設定等)																											
	<input type="checkbox"/> 関係機関等との協議の未成立																											
	<input checked="" type="checkbox"/> 関係機関等との協議条件による影響	1) 交通管理者及び用地所有者との協議により、施工時期、作業時間の制約があった場合は厳守すること。																										
	<input type="checkbox"/> 地下埋設物、埋蔵文化財等の事前調査及び移設期間																											
	<input type="checkbox"/> 設計上、見込んでいる休日日数等以外の作業不能日数																											
□ 用地関係	<input type="checkbox"/> 工事用地等の未処理部分																											
	<input type="checkbox"/> 工事用仮設道路・資機材置き場用の民有地等の借地																											
	<input type="checkbox"/> 発注者が借り上げた土地の使用																											
	<input type="checkbox"/> 工事用地等の使用終了後における復旧内容																											
■ (公害・環境・排水等)周辺関係	<input checked="" type="checkbox"/> 工事に伴う公害防止(騒音、振動、粉塵、排出ガス等)対策	1) 設計図書に示すとおり、排ガス対策型機械等を使用すること。																										
	<input type="checkbox"/> 水替え・流入防止施設																											
	<input checked="" type="checkbox"/> 濁水、湧水等の処理対策	1) 補装版切斷作業時に発生した濁水については、産業廃棄物の汚泥として処理すること。																										
	<input type="checkbox"/> 事業損失防止関係																											
■ 安全対策関係	<input checked="" type="checkbox"/> 交通安全施設等の指定	1) 現場調査を実施し、安全施設計画図を監督員に提出すること。 2) 関係機関との協議により安全施設計画図に変更が生じた場合、監督員と別途協議する。																										
	<input type="checkbox"/> 近接工事での施工方法、作業時間等の制限																											
	<input type="checkbox"/> 落石、土砂崩落等に対する防護施設																											
	<input checked="" type="checkbox"/> 交通誘導警備員、警戒船等の保安設備、保安要員の配置	1) 交通誘導警備員 地元又は道路管理者等との調整により、配置体制に変更が生じた場合には、監督員と協議する。 ① 主な工種の配置体制 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>No.1</th> <th>No.2</th> <th>No.3</th> <th>No.4</th> <th>No.5</th> <th>No.6</th> <th>No.7</th> <th>No.8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>管体調査工事</td> <td>3名 / 日</td> <td>2名 / 日</td> <td>3名 / 日</td> <td>1名 / 日</td> <td>1名 / 日</td> <td>3名 / 日</td> <td>1名 / 日</td> <td>3名 / 日</td> </tr> <tr> <td>路面復旧工事</td> <td>3名 / 日</td> </tr> </tbody> </table> ② 交通誘導警備員の資格 交通誘導警備員全て警備業法による警備員とすること。		No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	管体調査工事	3名 / 日	2名 / 日	3名 / 日	1名 / 日	1名 / 日	3名 / 日	1名 / 日	3名 / 日	路面復旧工事	3名 / 日						
	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8																				
管体調査工事	3名 / 日	2名 / 日	3名 / 日	1名 / 日	1名 / 日	3名 / 日	1名 / 日	3名 / 日																				
路面復旧工事	3名 / 日	3名 / 日	3名 / 日	3名 / 日	3名 / 日	3名 / 日	3名 / 日	3名 / 日																				
<input type="checkbox"/> 有毒ガス及び酸素欠乏等の換気設備等対策	2) 参考【見積り参考として、交通誘導警備員は延べ 35人を見込んでいる。】																											

明示項目	明示事項	明示事項内容及び参考
□工道事路用関係	<input type="checkbox"/> 工事用資機材等の搬入経路、使用期間等の制限	
	<input type="checkbox"/> 搬入路の使用中及び使用後の処置	
	<input type="checkbox"/> 仮設道路の設置	
	<input type="checkbox"/> 一般道路の占用	
□仮設備関係	<input type="checkbox"/> 仮設物(仮土留、足場等)の他工事への転用若しくは兼用	
	<input type="checkbox"/> 仮設備の構造及び施工方法の指定	
	<input type="checkbox"/> 仮設備の設計条件の指定	
■建設副産物関係	<input checked="" type="checkbox"/> 残土の受け入れ及び仮置き場所までの距離、時間等の処分条件	1) 公共建設発生土 ①確認処分とする。 ②受入条件は受入先の条件による。
	<input checked="" type="checkbox"/> 建設副産物の現場内での再利用及び減量化	1) 改良土 設計図書のとおりとし、受入条件については受入先の条件による。 2) その他についても設計図書に基づき、再生資材を使用する。 なお、使用に際し品質が適正なものであるか確認するものとする。
	<input checked="" type="checkbox"/> 建設副産物及び建設廃棄物の処理	1) 設計図書のとおりとし、受入条件については受入先条件による。
□薬入液関注係	<input type="checkbox"/> 薬液注入工法の施工	
	<input type="checkbox"/> 周辺環境への調査	
□工事物支件障等	<input type="checkbox"/> 占用物件の有無及び占用物件等による工事支障物の存在	
	<input type="checkbox"/> 地上、地下等の占用物件工事との重複施工	
■その他	<input type="checkbox"/> 工事用資機材の保管及び仮置き	
	<input checked="" type="checkbox"/> 工事現場発生品	1) 設計図書に基づき、適切な処分を行うこと。
	<input type="checkbox"/> 支給材料及び貸与品	
	<input type="checkbox"/> 関係機関・自治体等との近接工事協議に係る条件等	
	<input type="checkbox"/> 架設工法の指定	
	<input type="checkbox"/> 工事用水、電力等の指定	
	<input type="checkbox"/> 新技術・新工法・特許工法の指定	
	<input type="checkbox"/> 部分使用	
	<input type="checkbox"/> 給水の必要	
	<input type="checkbox"/> 電子納品対象工事特記仕様書	
	<input type="checkbox"/> その他	

揚水管管体調査工事
工事設計書

横須賀市上下水道局

総括表

2019年度	工事番号	
工事名 揚水管管体調査工事		
ブロック番号		工事場所 横須賀市湘南鷹取4丁目6番先ほか7箇所
予算科目		
工事概要	<p>本工事は、揚水管及び配水管の長寿命化対策の基礎資料とするために 管体調査を実施するものであり、工事概要は下記のとおりである。</p> <p>記</p> <p>揚水管管体調査工事</p> <hr/> <p>工期　自令和　年　月　日 至令和　年　月　日</p>	
工事施工方法	請負	工事日数 100日

横須賀市上下水道局

設 計 基 本 情 報

設計情報

設計書番号	013100025
設計種別	当初設計
工事番号	
工事名	揚水管管体調査工事
ブロック番号	

諸経費情報

単価世代	2019年 4月 1日
諸経費の工種	開削工事及び小口径推進工事
施工地域補正	一般交通影響有り(2)
前払金支出割合	40%
契約保証費	0.04% 金錢的保証
処分費控除	あり
週休2日補正	なし

横須賀市上下水道局

本工事内訳書

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
管体調査工事				式	1			/H
請負工事費								/H
直接工事費								/H
管体調査工事				箇所	8			/H
	管体調査工No. 1	400A, 機械, 昼間		式	1			第 1 号内訳書参照 @U001
	管体調査工No. 2	400A, 機械, 昼間		式	1			第 2 号内訳書参照 @U002
	管体調査工No. 3	800A, 機械, 昼間		式	1			第 3 号内訳書参照 @U003
	管体調査工No. 4	800A, 機械, 昼間		式	1			第 4 号内訳書参照 @U004
	管体調査工No. 5	800A, 機械, 昼間		式	1			第 5 号内訳書参照 @U005
	管体調査工No. 6	800A, 機械, 昼間		式	1			第 6 号内訳書参照 @U006
	管体調査工No. 7	400A, 機械, 昼間		式	1			第 7 号内訳書参照 @U007

P-1

付属 1

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
	管体調査工No. 8	400A, 機械, 昼間		式	1			第 8 号内訳書参照 @U008
路面復旧工事								/H
	路面復旧工No. 1	透水性 t=5cm RC-40 t=10cm, RC-10 t=10cm, 歩車道		式	1			第 9 号内訳書参照 @U012
	路面復旧工No. 2	密粒 t=5cm 歩車道		式	1			第 10 号内訳書参照 @U013
	路面復旧工No. 3	密粒 t=5cm, 再生粗粒 t=5cm RC-40 t=20cm, 歩車道		式	1			第 11 号内訳書参照 @U014
	路面復旧工No. 4	密粒 t=5cm 歩車道		式	1			第 12 号内訳書参照 @U015
	路面復旧工No. 5	密粒 t=5cm 歩車道		式	1			第 13 号内訳書参照 @U016
	路面復旧工No. 6	密粒 t=5cm, 再生粗粒 t=5cm RC-40 t=20cm, 歩車道		式	1			第 14 号内訳書参照 @U017
	路面復旧工No. 7	コンクリート t=10cm 歩車道		式	1			第 15 号内訳書参照 @U018
	路面復旧工No. 8	密粒 t=5cm RC-40 t=25cm, RM-40 t=15cm, 車道		式	1			第 16 号内訳書参照 @U019
	交通管理工			式	1			第 17 号内訳書参照 @U020

P-2

付属 2

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
	工事費	計						+3
	直接工事費	計						++P
	間接工事費							/H
	共通仮設費						(しゅん工CAD図面含む)	/H
	共通仮設費			式	1			%07Kr
	運搬費			式	1		第 18 号内訳書参照	@U009
	準備費			式	1		第 19 号内訳書参照	@U010
	技術管理費			式	1		第 20 号内訳書参照	@U011
	共通仮設費	計						+3K
	純工事費							++J
	現場管理費			式	1			%07Jo

P-3

付属 3

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
	工事原価							+G
	一般管理費等							/H
	一般管理費等			式	1			%07Gp
	一般管理費等	計						+3
	工事価格							++T
	消費税等相当額			式	1			%S10
	請負工事費	合計						+U

P-4

第1号内訳書 管体調査工No.1

400A、機械、昼間

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼管外面塗装除去工	400A L=2.0m 管体全周	箇所	1			局独自 Y0001
管体調査工		箇所	1			第1号一位代価表参照 Z0001-B00
鋼管外面塗装工	ジョイントコート(熱収縮タイプ) 呼び径400mm L=2m	箇所	1			第2号一位代価表参照 DW03F-J01*
小型バックホウ掘削積込	山積0.13m ³ (平積0.10m ³)	m ³	0.5			路盤 第3号一位代価表参照 DW399-J01
発生土運搬費	DID区間有り 運搬距離14.8km 良好 ダンプトラック2t積 バックホウ山積0.13m ³	m ³	0.5			路盤 第4号一位代価表参照 DW421-J01
廃材処理料(東部地区)	路盤材(上層・下層) 処分費の対象	m ³	0.5			県単価・2019/04/01・103 K0028
小型バックホウ掘削積込	山積0.13m ³ (平積0.10m ³)	m ³	2.9			管上部土砂 第3号一位代価表参照 DW399-J01
発生土運搬費	DID区間有り 運搬距離14.8km 良好 ダンプトラック2t積 バックホウ山積0.13m ³	m ³	2.9			管上部土砂 第4号一位代価表参照 DW421-J01
人力掘削	掘削・積込	m ³	2.4			管保護部土砂 第5号一位代価表参照 Z0002-B00
土砂等運搬工(現場制約有)	人力積込 DID区間有 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 23.0km以下	m ³	2.4			管保護部土砂 第6号一位代価表参照 DP020002-J01
発生土運搬費	DID区間有り 運搬距離14.8km 良好 ダンプトラック2t積 バックホウ山積0.13m ³	m ³	5.3			改良土 第4号一位代価表参照 DW421-J01

P-5

第1号付属1

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
管路埋戻費(機械埋戻・小型バックホウ)	(昼間) 20~0mm 山積0.13m ³ (平積0.10m ³)	m ³	2.4			改良土 第7号一位代価表参照 DW411-J01
管路埋戻費(機械埋戻・小型バックホウ)	(昼間) 40~0mm 山積0.13m ³ (平積0.10m ³)	m ³	2.9			改良土 第8号一位代価表参照 DW411-J02
下層路盤工(施工幅1.8m未満)	全仕上り厚20cm 転圧回数1層 RC-40	m ²	3			仮路盤 第9号一位代価表参照 DW431-J01
舗装工(人力施工)	車道及び路肩 仕上り厚50mm 小型車 再生密粒度AS混合物(13)	m ²	3			仮復旧 第10号一位代価表参照 DW440-J01
小型バックホウによる舗装版直接掘削・積込工	舗装厚0cmを超える10cm以下 山積0.13m ³ (平積0.10m ³)	m ²	3			仮復旧 第11号一位代価表参照 DW4301-J01
As塊運搬費	DID区間有り 運搬距離14.8km 良好 ダンプトラック2t積 バックホウ山積0.13m ³	m ³	0.2			仮復旧 第12号一位代価表参照 DW4211-J01
廃材処理料(東部地区)	AS板 処分費の対象	m ³	0.2			県単価・2019/04/01・103 K0024
土留工(軽量鋼矢板たて込み)	機械施工 矢板長2.5m 支保工 軽量金属製	m	3			第13号一位代価表参照 DW019-J01
軽量鋼矢板賃料		式	1			第14号一位代価表参照 Z0003-B00
軽量金属支保賃料		式	1			第15号一位代価表参照 Z0005-B00
計						

P-6

第2号内訳書 管体調査工No.2

400A 機械、昼間

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼管外面塗装除去工	400A L=2.0m 管体全周	箇所	1			局独自 Y0001
管体調査工		箇所	1			第1号一位代価表参照 Z0001-B00
鋼管外面塗装工	ジョインコート(熱収縮タイプ) 呼び径400mm L=2m	箇所	1			第2号一位代価表参照 DW03F-J01*
小型バックホウ掘削積込	山積0.13m ³ (平積0.10m ³)	m ³	0.2			第3号一位代価表参照 DW399-J01
発生土運搬費	DID区間有り 運搬距離10km 良好 ダンプトラック2t積 バック紹山積0.13m ³	m ³	0.2			第16号一位代価表参照 DW421-J05
土砂受入処分料(確認処分)	普通土砂、2t車 地山 処分費の対象	m ³	0.2			局独自 K0030-200
小型バックホウ掘削積込	山積0.13m ³ (平積0.10m ³)	m ³	0.9			路盤 第3号一位代価表参照 DW399-J01
発生土運搬費	DID区間有り 運搬距離14.8km 良好 ダンプトラック2t積 バック紹山積0.13m ³	m ³	0.9			路盤 第4号一位代価表参照 DW421-J01
廃材処理料(東部地区)	路盤材(上層・下層) 処分費の対象	m ³	0.9			県単価・2019/04/01・103 K0028
小型バックホウ掘削積込	山積0.13m ³ (平積0.10m ³)	m ³	2			管上部土砂 第3号一位代価表参照 DW399-J01
発生土運搬費	DID区間有り 運搬距離14.8km 良好 ダンプトラック2t積 バック紹山積0.13m ³	m ³	2			管上部土砂 第4号一位代価表参照 DW421-J01

P-7

第2号付属1

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
人力掘削	掘削・積込	m ³	4			管保護部土砂 第5号一位代価表参照 Z0002-B00
土砂等運搬工(現場制約有)	人力積込 DID区間有 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 23.0km以下	m ³	4			管保護部土砂 第6号一位代価表参照 DP020002-J01
発生土運搬費	DID区間有り 運搬距離14.8km 良好 ダンプトラック2t積 バック紹山積0.13m ³	m ³	5.8			改良土 第4号一位代価表参照 DW421-J01
管路埋戻費(機械埋戻・小型バックホウ)	(昼間) 20~0mm 山積0.13m ³ (平積0.10m ³)	m ³	4			改良土 第7号一位代価表参照 DW411-J01
管路埋戻費(機械埋戻・小型バックホウ)	(昼間) 40~0mm 山積0.13m ³ (平積0.10m ³)	m ³	1.8			改良土 第8号一位代価表参照 DW411-J02
下層路盤工(施工幅1.8m未満)	全仕上り厚25cm 転圧回数2層 RC-40	m ²	4			先行路盤 第17号一位代価表参照 DW431-J03
舗装工(人力施工)	車道及び路肩 仕上り厚50mm 小型車 再生密粒度AS混合物(13)	m ²	4			仮復旧 第10号一位代価表参照 DW440-J01
小型バック紹による舗装版直接掘削・積込工	舗装厚0cmを超え10cm以下 山積0.13m ³ (平積0.10m ³)	m ²	4			仮復旧 第11号一位代価表参照 DW4301-J01
As塊運搬費	DID区間有り 運搬距離14.8km 良好 ダンプトラック2t積 バック紹山積0.13m ³	m ³	0.2			仮復旧 第12号一位代価表参照 DW4211-J01
廃材処理料(東部地区)	AS殻 処分費の対象	m ³	0.2			県単価・2019/04/01・103 K0024
土留工(軽量鋼矢板たて込み)	機械施工 矢板長2.0m 支保工 軽量金属製	m	3			第18号一位代価表参照 DW019-J02

P-8

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
計						

第3号内訳書 管体調査工No.3

800A, 機械, 昼間

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼管外面塗装除去工	800A L=2.0m 管体半周	箇所	1			局独自 Y0005
管体調査工		箇所	1			第1号一位代価表参照 Z0001-B00
鋼管外面塗装工	ジョイントコート(熱収縮タイプ) 呼び径800mm L=2.0m 半周	箇所	1			第19号一位代価表参照 DW03P-J03*
小型パックホウ掘削積込	山積0.13m ³ (平積0.10m ³)	m ³	1			路盤 第3号一位代価表参照 DW399-J01
発生土運搬費	DID区間有り 運搬距離1.6km 良好 ダンプトラック2t積 パック約山積0.13m ³	m ³	1			路盤 第20号一位代価表参照 DW421-J03
廃材処理料(東部地区)	路盤材(上層・下層) 処分費の対象	m ³	1			県単価・2019/04/01・103 K0028
小型パックホウ掘削積込	山積0.13m ³ (平積0.10m ³)	m ³	5.1			管上部土砂 第3号一位代価表参照 DW399-J01
発生土運搬費	DID区間有り 運搬距離1.6km 良好 ダンプトラック2t積 パック約山積0.13m ³	m ³	5.1			管上部土砂 第20号一位代価表参照 DW421-J03
人力掘削	掘削・積込	m ³	2.9			管保護部土砂 第5号一位代価表参照 Z0002-B00
土砂等運搬工(現場制約有)	人力積込 DID区間有 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 2.0km以下	m ³	2.9			管保護部土砂 第21号一位代価表参照 DP020002-J03
発生土運搬費	DID区間有り 運搬距離1.6km 良好 ダンプトラック2t積 パック約山積0.13m ³	m ³	8			改良土 第20号一位代価表参照 DW421-J03

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
管路埋戻費(機械埋戻・小型バックホウ)	(昼間) 20~0mm 山積0.13m3(平積0.10m3)	m3	2.9			改良土 第7号一位代価表参照 DW411-J01
管路埋戻費(機械埋戻・小型バックホウ)	(昼間) 40~0mm 山積0.13m3(平積0.10m3)	m3	5.1			改良土 第8号一位代価表参照 DW411-J02
下層路盤工(施工幅1.8m未満)	全仕上り厚25cm 転圧回数2層 RC-40	m2	5			仮路盤 第17号一位代価表参照 DW431-J03
舗装工(人力施工)	車道及び路肩 仕上り厚50mm 小型車 再生密粒度AS混合物(13)	m2	5			仮復旧 第10号一位代価表参照 DW440-J01
小型バックホウによる舗装版直接掘削・積込工	舗装厚0cmを超える10cm以下 山積0.13m3(平積0.10m3)	m2	5			仮復旧 第11号一位代価表参照 DW4301-J01
As塊運搬費	DID区間有り 運搬距離1.6km 良好 ダンプトラック2t積 バックホウ山積0.13m3	m3	0.3			仮復旧 第22号一位代価表参照 DW4211-J02
廃材処理料(東部地区)	AS殻 処分費の対象	m3	0.3			県単価・2019/04/01・103 K0024
土留工(軽量鋼矢板たて込み)	機械施工 矢板長2.5m 支保工 軽量金属製	m	3			第13号一位代価表参照 DW409-J01
計						

第4号内訳書 管体調査工No.4

800A, 機械, 昼間

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼管外面塗装除去工	800A L=2.0m 管体半周	箇所	1			局独自 Y0005
管体調査工		箇所	1			第1号一位代価表参照 Z0001-B00
鋼管外面塗装工	ジョイントコート(熱収縮タイプ) 呼び径800mm L=2.0m 半周	箇所	1			第19号一位代価表参照 DW03F-J03*
小型バックホウ掘削積込	山積0.13m3(平積0.10m3)	m3	1.2			路盤 第3号一位代価表参照 DW399-J01
発生土運搬費	DID区間有り 運搬距離1.6km 良好 ダンプトラック2t積 バックホウ山積0.13m3	m3	1.2			路盤 第20号一位代価表参照 DW421-J03
廃材処理料(東部地区)	路盤材(上層・下層) 処分費の対象	m3	1.2			県単価・2019/04/01・103 K0028
小型バックホウ掘削積込	山積0.13m3(平積0.10m3)	m3	6			管上部土砂 第3号一位代価表参照 DW399-J01
発生土運搬費	DID区間有り 運搬距離1.6km 良好 ダンプトラック2t積 バックホウ山積0.13m3	m3	6			管上部土砂 第20号一位代価表参照 DW421-J03
人力掘削	掘削・積込	m3	3.5			管保護部土砂 第5号一位代価表参照 Z0002-B00
土砂等運搬工(現場制約有)	人力積込 DID区間有 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 2.0km以下	m3	3.5			管保護部土砂 第21号一位代価表参照 DP020002-J03
発生土運搬費	DID区間有り 運搬距離1.6km 良好 ダンプトラック2t積 バックホウ山積0.13m3	m3	9.5			改良土 第20号一位代価表参照 DW421-J03

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
管路埋戻費(機械埋戻・小型バックホウ)	(昼間) 20~0mm 山積0.13m ³ (平積0.10m ³)	m ³	3.5			改良土 第 7 号一位代価表参照 DW411-J01
管路埋戻費(機械埋戻・小型バックホウ)	(昼間) 40~0mm 山積0.13m ³ (平積0.10m ³)	m ³	6			改良土 第 8 号一位代価表参照 DW411-J02
下層路盤工(施工幅1.8m以上)	全仕上り厚20cm 転圧回数1層 RC-40	m ²	6			先行路盤 第 23 号一位代価表参照 DW431-J02
舗装工(人力施工)	車道及び路肩 仕上り厚50mm 小型車 再生密粒度AS混合物(13)	m ²	6			仮復旧 第 10 号一位代価表参照 DW440-J01
小型バックホウによる舗装版直接掘削・積込工	舗装厚0cmを超える10cm以下 山積0.13m ³ (平積0.10m ³)	m ²	6			仮復旧 第 11 号一位代価表参照 DW4301-J01
As塊運搬費	D I D 区間有り 運搬距離1.6km 良好 ダンプトラック2t 積 バックホウ山積0.13m ³	m ³	0.3			仮復旧 第 22 号一位代価表参照 DW4211-J02
廃材処理料(東部地区)	AS殻 処分費の対象	m ³	0.3			県単価・2019/04/01~103 K0024
土留工(軽量鋼矢板たて込み)	機械施工 矢板長2.5m 支保工 軽量金属製	m	3			第 13 号一位代価表参照 DW019-J01
計						

第 5 号 内訳書 管体調査工No.5

800A, 機械, 昼間

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼管外面塗装除去工	800A L=2.0m 管体半周	箇所	1			局独自 Y0005
管体調査工		箇所	1			第 1 号一位代価表参照 Z0001-B00
鋼管外面塗装工	ジョイントコート(熱収縮タイプ) 呼び径800mm L=2.0m 半周	箇所	1			第 19 号一位代価表参照 DW03F-J03*
小型バックホウ掘削積込	山積0.13m ³ (平積0.10m ³)	m ³	0.3			路盤 第 3 号一位代価表参照 DW399-J01
発生土運搬費	D I D 区間有り 運搬距離2km 良好 ダンプトラック2t 積 バックホウ山積0.13m ³	m ³	0.3			路盤 第 24 号一位代価表参照 DW421-J04
廃材処理料(東部地区)	路盤材(上層・下層) 処分費の対象	m ³	0.3			県単価・2019/04/01~103 K0028
人力掘削	掘削・積込	m ³	1.3			管保護部土砂 第 5 号一位代価表参照 Z0002-B00
土砂等運搬工(現場制約有)	人力積込 DID区間有 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 2.0km以下	m ³	1.3			管保護部土砂 第 21 号一位代価表参照 DP020002-J03
発生土運搬費	D I D 区間有り 運搬距離2km 良好 ダンプトラック2t 積 バックホウ山積0.13m ³	m ³	1.3			改良土 第 24 号一位代価表参照 DW421-J04
管路埋戻費(機械埋戻・小型バックホウ)	(昼間) 20~0mm 山積0.13m ³ (平積0.10m ³)	m ³	1.3			改良土 第 7 号一位代価表参照 DW411-J01
下層路盤工(施工幅1.8m未満)	全仕上り厚20cm 転圧回数1層 RC-40	m ²	2			先行路盤 第 9 号一位代価表参照 DW431-J01

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装工(人力施工)	車道及び路肩 仕上り厚50mm 小型車 再生密粒度AS混合物(13)	m2	2			仮復旧 第 10 号一位代価表参照 DW440-J01
小型バックホによる舗装版直接掘削・積込工	舗装厚0cmを超える10cm以下 山積0.13m3(平積0.10m3)	m2	2			仮復旧 第 11 号一位代価表参照 DW4301-J01
As塊運搬費	D I D 区間有り 運搬距離2km 良好 ダンプトラック2t積 バックホ山積0.13m3	m3	0.1			仮復旧 第 25 号一位代価表参照 DW4211-J04
廃材処理料(東部地区)	AS殻 処分費の対象	m3	0.1			県単価・2019/04/01・103 K0024
計						

第 6 号 内訳書 管体調査工No.6

800A, 機械, 昼間

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼管外面塗装除去工	800A L=2.0m 管体半周	箇所	1			局独自 Y0005
管体調査工		箇所	1			第 1 号一位代価表参照 Z0001-B00
鋼管外面塗装工	ジョイントコート(熱収縮タイプ) 呼び径800mm L=2.0m 半周	箇所	1			第 19 号一位代価表参照 DW03F-J03*
小型バックホウ掘削積込	山積0.13m3(平積0.10m3)	m3	0.9			路盤 第 3 号一位代価表参照 DW399-J01
発生土運搬費	D I D 区間有り 運搬距離2km 良好 ダンプトラック2t積 バックホ山積0.13m3	m3	0.9			路盤 第 24 号一位代価表参照 DW421-J04
廃材処理料(東部地区)	路盤材(上層・下層) 処分費の対象	m3	0.9			県単価・2019/04/01・103 K0028
小型バックホウ掘削積込	山積0.13m3(平積0.10m3)	m3	2.7			管上部土砂 第 3 号一位代価表参照 DW399-J01
発生土運搬費	D I D 区間有り 運搬距離2km 良好 ダンプトラック2t積 バックホ山積0.13m3	m3	2.7			管上部土砂 第 24 号一位代価表参照 DW421-J04
人力掘削	掘削・積込	m3	2.4			管保護部土砂 第 5 号一位代価表参照 Z0002-B00
土砂等運搬工(現場制約有)	人力積込 DID区間有 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 2.0km以下	m3	2.4			管保護部土砂 第 21 号一位代価表参照 DP020002-J03
発生土運搬費	D I D 区間有り 運搬距離2km 良好 ダンプトラック2t積 バックホ山積0.13m3	m3	5.1			改良土 第 24 号一位代価表参照 DW421-J04

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
管路埋戻費(機械埋戻・小型バックホウ)	(昼間) 20~0mm 山積0.13m3(平積0.10m3)	m3	2.4			改良土 第7号一位代価表参照 DW411-J01
管路埋戻費(機械埋戻・小型バックホウ)	(昼間) 40~0mm 山積0.13m3(平積0.10m3)	m3	2.7			改良土 第8号一位代価表参照 DW411-J02
下層路盤工(施工幅1.8m未溝)	全仕上り厚25cm 転圧回数2層 RC-40	m2	5			仮路盤 第17号一位代価表参照 DW431-J03
舗装工(人力施工)	車道及び路肩 仕上り厚50mm 小型車 再生密粒度AS混合物(13)	m2	5			仮復旧 第10号一位代価表参照 DW440-J01
小型バックホウによる舗装版直接掘削・積込工	舗装厚0cmを超える10cm以下 山積0.13m3(平積0.10m3)	m2	5			仮復旧 第11号一位代価表参照 DW4301-J01
As塊運搬費	DID区間有り 運搬距離2km 良好 ダンプトラック2t積 バックホウ山積0.13m3	m3	0.3			仮復旧 第25号一位代価表参照 DW4211-J04
廃材処理料(東部地区)	AS殻 処分費の対象	m3	0.3			県単価・2019/04/01・103 K0024
土留工(軽量鋼矢板たて込み)	機械施工 矢板長2.0m 支保工 軽量金属製	m	3			第18号一位代価表参照 DW019-J02
計						

第7号内訳書 管体調査工No.7

400A, 機械, 昼間

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼管外面塗装除去工	400A L=2.0m 管体全周	箇所	1			局独自 Y0001
管体調査工		箇所	1			第1号一位代価表参照 Z0001-B00
鋼管外面塗装工	ジョイントコート(熱収縮タイプ) 呼び径400mm L=2m	箇所	1			第2号一位代価表参照 DW03F-J01*
小型バックホウ掘削積込	山積0.13m3(平積0.10m3)	m3	0.7			路盤 第3号一位代価表参照 DW399-J01
発生土運搬費	DID区間有り 運搬距離9.8km 良好 ダンプトラック2t積 バックホウ山積0.13m3	m3	0.7			路盤 第26号一位代価表参照 DW421-J02
廃材処理料(東部地区)	路盤材(上層・下層) 処分費の対象	m3	0.7			県単価・2019/04/01・103 K0028
小型バックホウ掘削積込	山積0.13m3(平積0.10m3)	m3	1.3			管上部土砂 第3号一位代価表参照 DW399-J01
発生土運搬費	DID区間有り 運搬距離9.8km 良好 ダンプトラック2t積 バックホウ山積0.13m3	m3	1.3			管上部土砂 第26号一位代価表参照 DW421-J02
人力掘削	掘削・積込	m3	3.3			管保護部土砂 第5号一位代価表参照 Z0002-B00
土砂等運搬工(現場制約有)	人力積込 DID区間有 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 10.5km以下	m3	3.3			管保護部土砂 第27号一位代価表参照 DP020002-J02
発生土運搬費	DID区間有り 運搬距離9.8km 良好 ダンプトラック2t積 バックホウ山積0.13m3	m3	4.6			改良土 第26号一位代価表参照 DW421-J02

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
管路埋戻費(機械埋戻・小型バックホウ)	(昼間) 20~0mm 山積0.13m3(平積0.10m3)	m3	3.3			改良土 第 7 号一位代価表参照 DW411-J01
管路埋戻費(機械埋戻・小型バックホウ)	(昼間) 40~0mm 山積0.13m3(平積0.10m3)	m3	1.3			改良土 第 8 号一位代価表参照 DW411-J02
下層路盤工(施工幅1.8m未満)	全仕上り厚20cm 転圧回数1層 RC-40	m2	4			先行路盤 第 9 号一位代価表参照 DW431-J01
舗装工(人力施工)	車道及び路肩 仕上り厚50mm 小型車 再生密粒度AS混合物(13)	m2	4			仮復旧 第 10 号一位代価表参照 DW440-J01
小型バックホウによる舗装版直接掘削・積込工	舗装厚0cmを超える10cm以下 山積0.13m3(平積0.10m3)	m2	4			仮復旧 第 11 号一位代価表参照 DW4301-J01
As塊運搬費	D I D 区間有り 運搬距離9.8km 良好 ダンプトラック2t 積 バックホウ山積0.13m3	m3	0.2			仮復旧 第 28 号一位代価表参照 DW4211-J03
廃材処理料(東部地区)	AS殻 処分費の対象	m3	0.2			県単価・2019/04/01-103 K0024
土留工(軽量鋼矢板たて込み)	機械施工 矢板長2.0m 支保工 軽量金属製	m	3			第 18 号一位代価表参照 DW4019-J02
計						

第 8 号 内訳書 管体調査工No.8

400A, 機械, 昼間

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼管外面塗装除去工	400A L=2.0m 管体全周	箇所	1			局独自 Y0001
管体調査工		箇所	1			第 1 号一位代価表参照 Z0001-B00
鋼管外面塗装工	ジョイントコート(熱収縮タイプ) 呼び径400mm L=2m	箇所	1			第 2 号一位代価表参照 DW03F-J01*
小型バックホウ掘削積込	山積0.13m3(平積0.10m3)	m3	1.9			路盤 第 3 号一位代価表参照 DW399-J01
発生土運搬費	D I D 区間有り 運搬距離9.8km 良好 ダンプトラック2t 積 バックホウ山積0.13m3	m3	1.9			路盤 第 26 号一位代価表参照 DW421-J02
廃材処理料(東部地区)	路盤材(上層・下層) 処分費の対象	m3	1.9			県単価・2019/04/01-103 K0028
小型バックホウ掘削積込	山積0.13m3(平積0.10m3)	m3	4.1			管上部土砂 第 3 号一位代価表参照 DW399-J01
発生土運搬費	D I D 区間有り 運搬距離9.8km 良好 ダンプトラック2t 積 バックホウ山積0.13m3	m3	4.1			管上部土砂 第 26 号一位代価表参照 DW421-J02
人力掘削	掘削・積込	m3	4.5			管保護部土砂 第 5 号一位代価表参照 Z0002-B00
土砂等運搬工(現場制約有)	人力積込 DID区間有 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 10.5km以下	m3	4.5			管保護部土砂 第 27 号一位代価表参照 DP020002-J02
発生土運搬費	D I D 区間有り 運搬距離9.8km 良好 ダンプトラック2t 積 バックホウ山積0.13m3	m3	8.6			改良土 第 26 号一位代価表参照 DW421-J02

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
管路埋戻費(機械埋戻・小型バックホウ)	(昼間) 20~0mm 山積0.13m ³ (平積0.10m ³)	m ³	4.5			改良土 第 7 号一位代価表参照 DW411-J01
管路埋戻費(機械埋戻・小型バックホウ)	(昼間) 40~0mm 山積0.13m ³ (平積0.10m ³)	m ³	4.1			改良土 第 8 号一位代価表参照 DW411-J02
下層路盤工(施工幅1.8m未満)	全仕上り厚40cm 転圧回数2層 RC-40	m ²	5			仮路盤 第 29 号一位代価表参照 DW431-J04
舗装工(人力施工)	車道及び路肩 仕上り厚50mm 小型車 再生密粒度AS混合物(13)	m ²	5			仮復旧 第 10 号一位代価表参照 DW440-J01
小型バックホウによる舗装版直接掘削・積込工	舗装厚0cmを超える10cm以下 山積0.13m ³ (平積0.10m ³)	m ²	5			仮復旧 第 11 号一位代価表参照 DW4301-J01
As塊運搬費	D I D 区間有り 運搬距離9.8km 良好 ダンプトラック2t 積 バックホウ山積0.13m ³	m ³	0.3			仮復旧 第 28 号一位代価表参照 DW4211-J03
廃材処理料(東部地区)	AS般 処分費の対象	m ³	0.3			県単価・2019/04/01・103 K0024
土留工(軽量鋼矢板たて込み)	機械施工 矢板長2.5m 支保工 軽量金属製	m	3			第 13 号一位代価表参照 DW019-J01
計						

第 9 号 内訳書 路面復旧工No. 1

透水性 t=5cm
RC-40 t=10cm, RC-10 t=10cm, 歩車道

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装切断						/t
As舗装版切断工	As舗装厚15cm以下	m	121			第 30 号一位代価表参照 DP040036-J01
Co舗装版切断工	Co舗装厚15cm以下	m	17			第 31 号一位代価表参照 DP040036-J02
コンクリート+アスファルト舗装版切断漏水処理工	ダンプトラック 2t 積 級 滲漏3回	式	1			第 32 号一位代価表参照 D332A1-J01*
本復旧						/t
小型バックホウによる舗装版直接掘削・積込工	舗装厚0cmを超える10cm以下 山積0.13m ³ (平積0.10m ³)	m ²	13			既設舗装 第 11 号一位代価表参照 DW4301-J01
As塊運搬費	D I D 区間有り 運搬距離14.8km 良好 ダンプトラック2t 積 バックホウ山積0.13m ³	m ³	0.7			既設舗装 第 12 号一位代価表参照 DW4211-J01
廃材処理料(東部地区)	AS般 処分費の対象	m ³	0.7			県単価・2019/04/01・103 K0024
小型バックホウ掘削積込	山積0.13m ³ (平積0.10m ³)	m ³	0.8			路盤入替 第 3 号一位代価表参照 DW399-J01
発生土運搬費	D I D 区間有り 運搬距離14.8km 良好 ダンプトラック2t 積 バックホウ山積0.13m ³	m ³	0.8			路盤入替 第 4 号一位代価表参照 DW421-J01
廃材処理料(東部地区)	路盤材(上層・下層) 処分費の対象	m ³	0.8			県単価・2019/04/01・103 K0028

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
フィルター層工	平均厚100~120mm未満	m2	4			フィルター層 第 33 号一位代価表参照 DP040014-J01
下層路盤工 (施工幅1.8m未満)	全仕上り厚10cm 転圧回数1層 RC-40	m2	4			路盤 第 34 号一位代価表参照 DW431-J05
不陸整正工 (施工幅1.8m以上)	路盤材整正厚3cm	m2	9			第 35 号一位代価表参照 DW432-J02
透水性アスファルト舗装工	幅1.4m以上 1層平均厚50mm 小型車 密粒度AS混合物(13)	m2	13			表層 第 36 号一位代価表参照 DP040015-J01
計						

第 10 号 内訳書 路面復旧工No. 2

密粒 t=5cm
歩車道

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
本復旧						/H
小型バックによる舗装版直接掘削・積込工	舗装厚0cmを超えて10cm以下 山積0.13m ³ (平積0.10m ³)	m2	19			既設舗装 第 11 号一位代価表参照 DW4301-J01
As塊運搬費	D I D 区間有り 運搬距離14.8km 良好 ダンプトラック2t 積 バックホウ山積0.13m ³	m3	1			既設舗装 第 12 号一位代価表参照 DW4211-J01
廃材処理料 (東部地区)	AS級 処分費の対象	m3	1			県単価・2019/04/01・103 K0024
不陸整正工 (施工幅1.8m以上)	路盤材整正厚3cm	m2	19			第 35 号一位代価表参照 DW432-J02
舗装工(人力施工)	車道及び路肩 仕上り厚50mm 小型車 密粒度AS混合物(13)	m2	19			表層 第 37 号一位代価表参照 DW440-J02
計						

第 11 号 内訳書 路面復旧工No. 3

密粒 t=5cm, 再生粗粒 t=5cm
RC-40 t=20cm, 歩車道

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
一次復旧						/H
小型パック材による舗装版直接掘削・積込工	舗装厚0cmを超える10cm以下 山積0.13m ³ (平積0.10m ³)	m ²	6			既設舗装 第 11 号一位代価表参照 DW4301-J01
As塊運搬費	D I D 区間有り 運搬距離1.6km 良好 ダンプトラック2t 積 パック材山積0.13m ³	m ³	0.6			既設舗装 第 22 号一位代価表参照 DW4211-J02
廃材処理料(東部地区)	AS穀 処分費の対象	m ³	0.6			県単価・2019/04/01・103 K0024
小型パックホウ掘削積込	山積0.13m ³ (平積0.10m ³)	m ³	1.5			路盤入替 第 3 号一位代価表参照 DW399-J01
発生土運搬費	D I D 区間有り 運搬距離1.6km 良好 ダンプトラック2t 積 パック材山積0.13m ³	m ³	1.5			路盤入替 第 20 号一位代価表参照 DW421-J03
廃材処理料(東部地区)	路盤材(上層・下層) 処分費の対象	m ³	1.5			県単価・2019/04/01・103 K0028
下層路盤工(施工幅1.8m以上)	全仕上り厚20cm 転圧回数1層 RC-40	m ²	6			路盤 第 23 号一位代価表参照 DW431-J02
舗装工(人力施工)	車道及び路肩 仕上り厚50mm 小型車 再生粗粒度AS混合物(20)	m ²	6			基層 第 38 号一位代価表参照 DW440-J03
舗装工(人力施工)	車道及び路肩 仕上り厚50mm 小型車 再生密粒度AS混合物(13)	m ²	6			仮復旧 第 10 号一位代価表参照 DW440-J01
本復旧						/H

P-25

第 11 号 付属 1

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
小型パック材による舗装版直接掘削・積込工	舗装厚0cmを超える10cm以下 山積0.13m ³ (平積0.10m ³)	m ²	14			舗装打替 第 11 号一位代価表参照 DW4301-J01
As塊運搬費	D I D 区間有り 運搬距離1.6km 良好 ダンプトラック2t 積 パック材山積0.13m ³	m ³	0.7			舗装打替 第 22 号一位代価表参照 DW4211-J02
廃材処理料(東部地区)	AS穀 処分費の対象	m ³	0.7			県単価・2019/04/01・103 K0024
舗装工(人力施工)	車道及び路肩 仕上り厚50mm 小型車 密粒度AS混合物(13)	m ²	14			表層 第 39 号一位代価表参照 DW440-J04
計						

P-26

第 12 号 内訳書 路面復旧工No. 4

密粒 t=5cm
歩車道

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
本復旧						/H
小型パック材による舗装版直接掘削・積込工	舗装厚0cmを超える10cm以下 山積0.13m ³ (平積0.10m ³)	m ²	16			既設舗装 第 11 号一位代価表参照 DW4301-J01
As塊運搬費	D I D 区間有り 運搬距離1.6km 良好 ダンプトラック2t積 パック紗山積0.13m ³	m ³	0.8			既設舗装 第 22 号一位代価表参照 DW4211-J02
廃材処理料(東部地区)	AS殻 処分費の対象	m ³	0.8			県単価・2019/04/01・103 K0024
不陸整正工(施工幅1.8m以上)	路盤材整正厚3cm	m ²	16			第 35 号一位代価表参照 DW432-J02
舗装工(人力施工)	車道及び路肩 仕上り厚50mm 小型車 密粒度AS混合物(13)	m ²	16			表層 第 37 号一位代価表参照 DW440-J02
計						

P-27

第 13 号 内訳書 路面復旧工No. 5

密粒 t=5cm
歩車道

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
保護コンクリート						/H
コンクリート取壊し工	コンクリートブレーカー,無筋	m ³	0.7			既設保護Co 第 40 号一位代価表参照 Z0008-B00
搬運搬工(Co(無筋・鉄筋)構造物取壊し)	人力積込 DID区間有 2.0km以下	m ³	0.7			既設保護Co 第 41 号一位代価表参照 DP020101-J01
廃材処理料(東部地区)	無筋C0殻 処分費の対象	m ³	0.7			県単価・2019/04/01・103 K0026
コンクリート工(18-8-25(20) W/C指定無し)	無筋・鉄筋構造物 養生無 小型車	m ³	0.7			保護Co 第 42 号一位代価表参照 DP020102-J03
一般型枠工	鉄筋・無筋構造物	m ²	1			第 43 号一位代価表参照 DP020104-J01
本復旧						/H
小型パック材による舗装版直接掘削・積込工	舗装厚0cmを超える10cm以下 山積0.13m ³ (平積0.10m ³)	m ²	2			既設舗装 第 11 号一位代価表参照 DW4301-J01
As塊運搬費	D I D 区間有り 運搬距離2km 良好 ダンプトラック2t積 パック紗山積0.13m ³	m ³	0.1			既設舗装 第 25 号一位代価表参照 DW4211-J04
廃材処理料(東部地区)	AS殻 処分費の対象	m ³	0.1			県単価・2019/04/01・103 K0024
不陸整正工(施工幅1.8m未満)	路盤材整正厚3cm	m ²	2			第 44 号一位代価表参照 DW432-J01

P-28

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装工(人力施工)	車道及び路肩 仕上り厚50mm 小型車 密粒度AS混合物(13)	m2	2			表層 第 37 号一位代価表参照 DW440-J02
計						

第 14 号 内訳書 路面復旧工 No. 6

密粒 t=5cm, 再生粗粒 t=5cm
RC-40 t=20cm, 歩車道

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
一次復旧						/H
小型バックホによる舗装版直接掘削・積込工	舗装厚0cmを超える10cm以下 山積0.13m ³ (平積0.10m ³)	m2	6			既設舗装 第 11 号一位代価表参照 DW4301-J01
As塊運搬費	D I D 区間有り 運搬距離2km 良好 ダンプトラック2t 積 バック紹山積0.13m ³	m3	0.6			既設舗装 第 25 号一位代価表参照 DW4211-J04
廃材処理料(東部地区)	AS殻 処分費の対象	m3	0.6			県単価・2019/04/01・103 K0024
小型バックホウ掘削積込	山積0.13m ³ (平積0.10m ³)	m3	1.5			路盤入替 第 3 号一位代価表参照 DW399-J01
発生土運搬費	D I D 区間有り 運搬距離2km 良好 ダンプトラック2t 積 バック紹山積0.13m ³	m3	1.5			路盤入替 第 24 号一位代価表参照 DW421-J04
廃材処理料(東部地区)	路盤材(上層・下層) 処分費の対象	m3	1.5			県単価・2019/04/01・103 K0028
下層路盤工(施工幅1.8m未満)	全仕上り厚20cm 転圧回数1層 RC-40	m2	6			路盤 第 9 号一位代価表参照 DW431-J01
舗装工(人力施工)	車道及び路肩 仕上り厚50mm 小型車 再生粗粒度AS混合物(20)	m2	6			基層 第 38 号一位代価表参照 DW440-J03
舗装工(人力施工)	車道及び路肩 仕上り厚50mm 小型車 再生密粒度AS混合物(13)	m2	6			仮復旧 第 10 号一位代価表参照 DW440-J01
本復旧						/H

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
小型バックホによる舗装版直接掘削・積込工	舗装厚0cmを超える10cm以下 山積0.13m ³ (平積0.10m ³)	m ²	17			舗装打替 第 11 号一位代価表参照 DW4301-J01
AS塊運搬費	DID区間有り 運搬距離2km 良好 ダンプトラック2t積 バックホ山積0.13m ³	m ³	0.9			舗装打替 第 25 号一位代価表参照 DW4211-J04
廃材処理料(東部地区)	AS般 処分費の対象	m ³	0.9			県単価・2019/04/01・103 K0024
舗装工(人力施工)	車道及び路肩 仕上り厚50mm 小型車 密粒度AS混合物(13)	m ²	17			表層 第 39 号一位代価表参照 DW440-J04
計						

第 15 号 内訳書 路面復旧工No. 7

コンクリート t=10cm
歩道

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
本復旧						/n
コンクリート取壊し工	コンクリートブレーカー, 無筋	m ³	0.9			既設舗装 第 40 号一位代価表参照 Z0008-B00
搬運搬工(Co(無筋・鉄筋)構造物取壊し)	人力積込 DID区間有り 10.5km以下	m ³	0.9			既設舗装 第 45 号一位代価表参照 DP020101-J02
廃材処理料(東部地区)	無筋Co般 処分費の対象	m ³	0.9			県単価・2019/04/01・103 K0026
小型バックホウ掘削積込	山積0.13m ³ (平積0.10m ³)	m ³	0.2			路盤すき取り 第 3 号一位代価表参照 DW399-J01
発生土運搬費	DID区間有り 運搬距離9.8km 良好 ダンプトラック2t積 バックホ山積0.13m ³	m ³	0.2			路盤すき取り 第 26 号一位代価表参照 DW421-J02
廃材処理料(東部地区)	路盤材(上層・下層) 処分費の対象	m ³	0.2			県単価・2019/04/01・103 K0028
不陸整正工(施工幅1.8m以上)	路盤材整正厚3cm	m ²	9			第 35 号一位代価表参照 DW432-J02
コンクリート工(24-8-25(20) W/C指定無し)	無筋・鉄筋構造物 養生無 小型車	m ³	9			Co舗装 第 46 号一位代価表参照 DP020102-J02
既設門扉撤去・設置	材工共 基礎工含む 既設門扉再使用	式	1			局独自 Y0026
計						

第 16 号 内訳書 路面復旧工No.8

密粒 t=5cm
RC-40 t=25cm, RM-40 t=15cm, 車道

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
本復旧						/H
小型バック杭による舗装版直接掘削・積込工	舗装厚0cmを超える10cm以下 山積0.13m ³ (平積0.10m ³)	m ²	20			既設舗装 第 11 号一位代価表参照 DW4301-J01
As塊運搬費	D I D 区間有り 運搬距離9.8km 良好 ダンプトラック2t 積 バック杭山積0.13m ³	m ³	1			既設舗装 第 28 号一位代価表参照 DW4211-J03
廃材処理料(東部地区)	AS殻 処分費の対象	m ³	1			県単価・2019/04/01・103 K0024
小型バックホウ掘削積込	山積0.13m ³ (平積0.10m ³)	m ³	3.4			路盤入替 第 3 号一位代価表参照 DW399-J01
発生土運搬費	D I D 区間有り 運搬距離9.8km 良好 ダンプトラック2t 積 バック杭山積0.13m ³	m ³	3.4			路盤入替 第 26 号一位代価表参照 DW421-J02
廃材処理料(東部地区)	路盤材(上層・下層) 処分費の対象	m ³	3.4			県単価・2019/04/01・103 K0028
下層路盤工(施工幅1.8m以上)	全仕上り厚25cm 転圧回数2層 RC-40	m ²	8			下層路盤 第 47 号一位代価表参照 DW431-J06
上層路盤工(施工幅1.8m以上)	全仕上り厚15cm 転圧回数1層 RM-40	m ²	8			上層路盤 第 48 号一位代価表参照 DW431-J07
不陸整正工(施工幅1.8m以上)	路盤材整正厚3cm	m ²	12			第 35 号一位代価表参照 DW432-J02
舗装工(人力施工)	車道及び路肩 仕上り厚50mm 小型車 密粒度AS混合物(13)	m ²	20			表層 第 37 号一位代価表参照 DW440-J02

P-33

第 16 号 付属 1

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線工						/H
区画線設置(溶融式)工(昼間)	実線20cm 制約無 塗布厚1.5mm	m	5			車道外側線 第 49 号一位代価表参照 DSH003000-J01
区画線設置(溶融式)工(夜間)	実線20cm 制約無 塗布厚1.5mm	m	5			車道中央線 第 50 号一位代価表参照 DSH003000-J02
計						

P-34

第 17 号 内訳書 交通管理工

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員B（交替有）	補正值1.2	人日				県単価・2019/04/01・労務2 R0011
計						

P-35

第 18 号 内訳書 運搬費

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
仮設材運搬費		t	1.6			往路 第 51 号一位代価表参照 20006-B00
仮設材運搬費		t	1.6			復路 第 51 号一位代価表参照 20006-B00
計						

P-36

第 19 号 内訳書 準備費

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
六価クロム溶出試験（諸経費含む）	前処理費・溶出液作成料含む	検体	1			建物、積資・2019/03/01・843,946 K0011
計						

P-37

第 20 号 内訳書 技術管理費

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土壤分析						/H
土壤抵抗		試料	24			局独自 Y0014
酸化還元電位		試料	24			局独自 Y0015
土のpH値		試料	24			局独自 Y0016
含水比		試料	24			局独自 Y0017
硫黄含有率		試料	24			局独自 Y0018
硫化物定性		試料	24			局独自 Y0019
土壤抽出水分析						/H
土壤抵抗		試料	24			局独自 Y0014
水のpH値		試料	24			局独自 Y0020
硫酸イオン含有率		試料	24			局独自 Y0021

P-38

第 20 号 付属 1

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
塩素イオン含有率		試料	24			局独自 Y0022
蒸発残留物		試料	24			局独自 Y0023
酸度		試料	24			局独自 Y0024
アルカリ度		試料	24			局独自 Y0025
地下水分析						/H
土壤抵抗		試料	8			局独自 Y0014
水のpH値		試料	8			局独自 Y0020
硫酸イオン含有率		試料	8			局独自 Y0021
塩素イオン含有率		試料	8			局独自 Y0022
蒸発残留物		試料	8			局独自 Y0023
酸度		試料	8			局独自 Y0024

P-39

第 20 号 付属 2

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
アルカリ度		試料	8			局独自 Y0025
計						

P-40

第1号 一位代価表 管体調査工

1箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
防食技師		人	6			局独自 Y0002
作業車両		台	1			局独自 Y0003
計器損料		式	1			局独自 Y0004
諸雑費端数計上		式	1			#99
計	1箇所 当り					

第2号 一位代価表 鋼管外面塗装工

ジョイントコート(熱収縮タイプ)
呼び径400mm L=2m

1箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
塗装工		人	0.55			県単価・2019/04/01・労務1 CR0120
シュリンクチューブ及びシート	φ400	個	5			局独自 A1556 1
諸雑費		%	6			(1) #09
計	1箇所 当り					

第3号 一位代価表 小型バックホウ掘削積込

山積0.13m³(平積0.10m³)100 m³ 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0240
普通作業員		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0020
小型バックホウ(クローラ型)運転	標準型 山積0.13/平積0.10m ³ 排出ガス対策型(第1次基準値)	日				第52号一位代価表参照 J1156-J01
諸雑費		式	1			#99
計	100 m ³ 当り					
	1 m ³ 当り					

DW399

[バックホウの規格]=山積0.13m³(平積0.10m³)、[公害対策機種]=「基準書指定」、[低騒音機種]=基準書指定

P-43

第4号 一位代価表 発生土運搬費

D I D区間有り 運搬距離14.8km 良好
ダンプトラック2t積 バックホウ山積0.13m³10 m³ 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ダンプトラック運転	オントロード・ディーゼル 2t積級 タイヤ損耗(良好)	日				第53号一位代価表参照 J1601-J01
諸雑費		式	1			#99
計	10 m ³ 当り					
	1 m ³ 当り					

DW421

[運搬機種・積込機種]=ダンプトラック2t積 バックホウ山積0.13m³、[D I D区間]=有り、[運搬距離(km)]=14.8、[公害対策機種]=「基準書指定」、[低騒音機種]=基準書指定
[路面状態]=良好

P-44

第5号 一位代価表 人力掘削

掘削・積込

1 m³ 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
床掘り工	土砂 現場制約有	m ³	1			第54号一位代価表参照 DP020012-J01
人力積込工	土砂	m ³	1			第55号一位代価表参照 DP020008-J01
諸雑費端数計上		式	1			#99
計	1 m ³ 当り					

※施工パッケージ単価

(II-1-②-19) DP020002-J01

第6号 一位代価表 土砂等運搬工(現場制約有)

人力積込 DID区間有
土砂(岩塊・玉石混り土含む) 23.0km以下1 m³ 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価		P				/H
機械構成比		%	K	20.68		/H
ダンプトラック	オントード・ダンプイーゼル 2t積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1	20.68		03-01-011-020-001 H16010T
労務構成比		%	R	70.43		/H
運転手(一般)		%	R1	70.43		県単価・2019/04/01・労務1 CR0150
材料構成比		%	Z	8.89		/H
軽油	1, 2号 パトロール給油	%	Z1	8.89		県単価・2019/04/01・102 CT6912
	1 m ³ 当り					

DP020002

<条件区分>

[土砂等発生現場]=現場制約あり, [積込機種・規格]=人力, [土質]=土砂(岩塊・玉石混り土含む), [DID区間の有無]=有り, [運搬距離]=23.0km以下, [路面状態]=良好

第7号 一位代価表 管路埋戻費(機械埋戻・小型バックホウ)

(昼間) 20~0mm
山積0.13m³(平積0.10m³)

(実務必携 P. 153)

DW411-J01

100 m³ 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				現場での指揮・指導 県単価・2019/04/01・労務1 CR0240
普通作業員		人				機械投入に伴う補助労務 県単価・2019/04/01・労務1 CR0020
普通作業員		人				締固め補助 県単価・2019/04/01・労務1 CR0020
小型バックホウ(クローラ型)運転	標準型 山積0.13/平積0.10m ³ 排出ガス対策型(第1次基準値)	日				第52号一位代価表参照 J1156-J01
タンパ運転	質量60~80kg	日				第56号一位代価表参照 J3952-J01
改良土	(昼間) 20~0mm 処分費の対象	m ³	125			局独自 K3023
諸雑費		式	1			#99
計	100 m ³ 当り					
	1 m ³ 当り					

DW411

[バックホウの規格]=山積0.13m³(平積0.10m³)、[埋戻材料費(m3)]=K3023;数量=125、[公害対策機種]='基準書指定'、[低騒音機種]=基準書指定

P-47

第8号 一位代価表 管路埋戻費(機械埋戻・小型バックホウ)

(昼間) 40~0mm
山積0.13m³(平積0.10m³)

(実務必携 P. 153)

DW411-J02

100 m³ 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				現場での指揮・指導 県単価・2019/04/01・労務1 CR0240
普通作業員		人				機械投入に伴う補助労務 県単価・2019/04/01・労務1 CR0020
普通作業員		人				締固め補助 県単価・2019/04/01・労務1 CR0020
小型バックホウ(クローラ型)運転	標準型 山積0.13/平積0.10m ³ 排出ガス対策型(第1次基準値)	日				第52号一位代価表参照 J1156-J01
タンパ運転	質量60~80kg	日				第56号一位代価表参照 J3952-J01
改良土	(昼間) 40~0mm 処分費の対象	m ³	125			局独自 K3024
諸雑費		式	1			#99
計	100 m ³ 当り					
	1 m ³ 当り					

DW411

[バックホウの規格]=山積0.13m³(平積0.10m³)、[埋戻材料費(m3)]=K3024;数量=125、[公害対策機種]='基準書指定'、[低騒音機種]=基準書指定

P-48

第9号 一位代価表 下層路盤工(施工幅1.8m未満)

全仕上り厚20cm 転圧回数1層
RC-40

(実務必携 P. 159, 160)

DW431-J01

100 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0020
再生クラッシャーラン	RC-40	m ³	25.4			県単価・2019/04/01・42 100*0.2*(1+0.27) CT1557
タンパ運転	質量60~80kg	日				第57号一位代価表参照 J3952-J02
諸雑費		式	1			#99
計	100 m2 当り					
	1 m2 当り					

DW431

[路盤種別]=下層路盤, [全仕上り厚(cm)]=20, [施工幅]=1.8m未満, [路盤材(m³)]=CT1557, [公害対策機種]:'基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定

P-49

第10号 一位代価表 補装工(人力施工)

車道及び路肩 仕上り厚50mm 小型車
再生密粒度AS混合物(13)(実務必携 P. 169)
100 m2 当り

DW440-J01

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0240
特殊作業員		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0010
普通作業員		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0020
再生アスファルト混合物	再生密粒度AS混合物(13)	t	12.573			県単価・2019/04/01・57 100*50/1000*2.35*(1+0.07) CT2169
小型車割増(A _s)		t	12.573			県単価・2019/04/01・61 100*50/1000*2.35*(1+0.07) CT2140
振動ローラ(舗装用)運転	バット・カット式 運転質量0.5~0.6t	日				第58号一位代価表参照 J3926-J01
振動コンパクタ運転	前進型 機械質量40~60kg	日				第59号一位代価表参照 J3963-J01
諸雑費		式	1			#99
計	100 m2 当り					
	1 m2 当り					

DW440

[歩車道区分]=車道及び路肩, [仕上り厚(mm)]=50, [アスファルト混合物(t)]=CT2169, [小型車割増]=あり, [瀝青材料(L)]=計上しない, [砂散布]=なし
[公害対策機種]:'基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定

P-50

第 11 号 一位代価表 小型バックホウによる舗装版直接掘削・積込工

舗装厚0cmを超える10cm以下
山積0.13m³(平積0.10m³)

(実務必携 P. 157)

DW4301-J01

100 m² 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0240
普通作業員		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0020
小型バックホウ(クローラ型)運転	標準型 山積0.13/平積0.10m ³ 排出ガス対策型(第1次基準値)	日				第 52 号一位代価表参照 J1156-J01
諸雑費		式	1			#99
計	100 m ² 当り					
	1 m ² 当り					

DW4301

[舗装厚]=0cmを超える10cm以下, [バックホウの規格]=山積0.13m³(平積0.10m³), [公害対策機種]=[基準書指定], [低騒音機種]=[基準書指定]

P-51

第 12 号 一位代価表 As塊運搬費

D I D 区間有り 運搬距離14.8km 良好
ダンプ トラック2t 積 バックホウ山積0.13m³(実務必携 P. 166, 167)
10 m³ 当り

DW4211-J01

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ダンプ トラック運転	オントロード・ディーゼル 2t積級 タイヤ損耗(良好)	日				第 53 号一位代価表参照 J1601-J01
諸雑費		式	1			#99
計	10 m ³ 当り					
	1 m ³ 当り					

DW4211

[運搬機種・積込機種]=ダンプ トラック2t 積 バックホウ山積0.13m³, [D I D 区間]=有り, [運搬距離(km)]=14.8, [処理対象]=As塊, [公害対策機種]=[基準書指定]
[低騒音機種]=[基準書指定], [路面状態]=良好

P-52

第 13 号 一位代価表 土留工(軽量鋼矢板たて込み)

機械施工 矢板長2.5m
支保工 軽量金属製

(実務必携 P.39)

DW019-J01

100 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
軽量鋼矢板たて込み工(両側分)	機械施工 矢板長2.5m	m	100			第 60 号一位代価表参照 DW012-J01
軽量鋼矢板引抜工(両側分)	機械施工 矢板長2.5m	m	100			第 61 号一位代価表参照 DW013-J01
軽量金属製支保設置撤去工	2段 3.5m以下 軽量金属腹起し材 水圧式パイプサポート	m	100			第 62 号一位代価表参照 DW018-J01
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

DW019

[矢板長]=2.5m, [バックホウの規格]=カラーラ型 山積0.13m³(平積0.10m³), [作業区分]=設置撤去, [腹起し材]=軽量金属腹起し材, [切梁材]=水圧式パイプサポート
[設置段数]=2段 3.5m以下, [公害対策機種]基準書指定, [低騒音機種]基準書指定

P-53

第 14 号 一位代価表 軽量鋼矢板賃料

1 式 当り

Z0003-B00

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
軽量鋼矢板 II 型 賃料	賃料日数30日	t	1.6			局独自 K0101
修理費及び損耗費(軽量鋼矢板)	軽作業, 使用回数3回, 矢板長2.0m	t	0.7			局独自 Y0007
修理費及び損耗費(軽量鋼矢板)	軽作業, 使用回数4回, 矢板長2.5m	t	0.9			局独自 Y0008
諸雑費端数計上		式	1			#99
計	1 式 当り					

P-54

第 15 号 一位代価表 軽量金属支保賃料

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
軽量アルミ製腹起こし材 基本料	70~80mm L=3.0m	本	4			局独自 Y0009
軽量アルミ製腹起こし材 賃料	70~80mm L=3.0m 賃料日数30日	本	4			局独自 Y0010
軽量アルミ製切梁材 基本料	水圧式770≤W≤1300 (程度)	本	6			建物, 積資・2019/03/01・809,295 K0163
軽量アルミ製切梁材 賃料	水圧式770≤W≤1300 (程度) 賃料日数30日	本	6			局独自 Y0011
軽量アルミ製切梁材 基本料	水圧式1500≤W≤2200 (程度)	本	6			建物, 積資・2019/03/01・809,295 K0165
軽量アルミ製切梁材 賃料	水圧式1500≤W≤2200 (程度) 賃料日数30日	本	6			局独自 Y0012
水圧式手動ポンプ 基本料	タク水量15L~19L	台	1			建物, 積資・2019/03/01・809,295 K0166
水圧式手動ポンプ 賃料	タク水量15L~19L 賃料日数30日	台	1			局独自 Y0013
諸雜費端数計上		式	1			#99
計	1式 当り					

第 16 号 一位代価表 発生土運搬費

D I D 区間有り 運搬距離10km 良好
ダンプ トラック2t 積 バック付山積0.13m³(実務必携 P. 166)
10 m³ 当り

DW421-J05

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ダンプ トラック運転	オロート・ディーゼル 2t積級 タイヤ損耗(良好)	日				第 53 号一位代価表参照 J1601-J01
諸雜費		式	1			#99
計	10 m ³ 当り					
	1 m ³ 当り					

DW421

[運搬機種・積込機種]=ダンプ トラック2t 積 バック付山積0.13m³, [D I D 区間]=有り, [運搬距離(km)]=10, [公害対策機種]=基準書指定, [低騒音機種]=基準書指定
[路面状態]=良好

第 17 号 一位代価表 下層路盤工 (施工幅1.8m未満)

全仕上り厚25cm 壓圧回数2層
RC-40

(実務必携 P. 159, 160)

DW431-J03

100 m² 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0020
再生クラッシャーラン	RC-40	m ³	31.75			県単価・2019/04/01・42 100*0.25*(1+0.27) CT1557
タンバ運転	質量60~80kg	日				第 57 号一位代価表参照 J3952-J02
諸雑費		式	1			#99
計	100 m ² 当り					
	1 m ² 当り					

DW431

[路盤種別]=下層路盤, [全仕上り厚(cm)]=25, [施工幅]=1.8m未満, [路盤材(m³)]=CT1557, [公害対策機種]='基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定

P-57

第 18 号 一位代価表 土留工 (軽量鋼矢板たて込み)

機械施工 矢板長2.0m
支保工 軽量金属製(実務必携 P. 39)
100 m 当り

DW019-J02

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
軽量鋼矢板たて込み工 (両側分)	機械施工 矢板長2.0m	m	100			第 63 号一位代価表参照 DW012-J02
軽量鋼矢板引抜工 (両側分)	機械施工 矢板長2.0m	m	100			第 64 号一位代価表参照 DW013-J02
軽量金属製支保設置撤去工	1段 2.0m以下 軽量金属腹起し材 水圧式パイプサポート	m	100			第 65 号一位代価表参照 DW018-J02
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

DW019

[矢板長]=2.0m, [バックホウの規格]=クローラ型 山積0.13m³(平積0.10m³), [作業区分]=設置撤去, [腹起し材]=軽量金属腹起し材, [切梁材]=水圧式パイプサポート
[設置段数]=1段 2.0m以下, [公害対策機種]='基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定

P-58

第 19 号 一位代価表 鋼管外面塗装工

ジョイントコート(熱収縮タイプ)
呼び径800mm L=2.0m 半周

1 箇所 当り

DW03F-J03*

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
塗装工		人	0.52			県単価・2019/04/01・労務1 CR0120
ジョイントコート(熱収縮タイプ)	φ800	個	2			局独自 Y0006
諸雑費		%	8			(1) #09
計	1 箇所 当り					

P-59

第 20 号 一位代価表 発生土運搬費

D I D 区間有り 運搬距離1.6km 良好
ダンプ トラック2t 積 バック付山積0.13m³(実務必携 P. 166)
10 m³ 当り

DW421-J03

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ダンプ トラック運転	オロート・ティ・イセル 2t積級 タイヤ損耗(良好)	日				第 53 号一位代価表参照 J1601-J01
諸雑費		式	1			#99
計	10 m ³ 当り					
	1 m ³ 当り					

DW421

[運搬機種・積込機種]=ダンプ トラック2t 積 バック付山積0.13m³, [D I D 区間]=有り, [運搬距離(km)]=1.6, [公害対策機種]=基準書指定, [低騒音機種]=基準書指定
[路面状態]=良好

P-60

第 21 号 一位代価表 土砂等運搬工(現場制約有)

人力積込 DID区間有
土砂(岩塊・玉石混り土含む) 2.0km以下

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			/H
機械構成比		%	K	20.68		/H
ダンプ トラック	オントロード・ディーゼル 2t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1	20.68	03-01-011-020-001 H16010T	
労務構成比		%	R	70.43		/H
運転手(一般)		%	R1	70.43	県単価・2019/04/01・労務1 CR0150	
材料構成比		%	Z	8.89		/H
軽油	1、2号 パトロール給油	%	Z1	8.89	県単価・2019/04/01・102 CT6912	
	1 m3 当り					

DP020002

<条件区分>

[土砂等発生現場]=現場制約あり, [積込機種・規格]=人力, [土質]=土砂(岩塊・玉石混り土含む), [DID区間の有無]=有り, [運搬距離]=2.0km以下, [路面状態]=良好

P-61

第 22 号 一位代価表 As塊運搬費

D I D 区間有り 運搬距離1.6km 良好
ダンプ トラック 2t 積 バック付山積0.13m3

(実務必携 P. 166, 167)
10 m3 当り

DW4211-J02

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ダンプ トラック運転	オントロード・ディーゼル 2t 積級 タイヤ損耗(良好)	日				第 53 号一位代価表参照 J1601-J01
諸経費		式	1			#99
計	10 m3 当り					
	1 m3 当り					

DW4211

[運搬機種・積込機種]=ダンプ トラック 2t 積 バック付山積0.13m3, [D I D 区間]=有り, [運搬距離(km)]=1.6, [処理対象]=As塊, [公害対策機種]=「基準書指定」
[低騒音機種]=基準書指定, [路面状態]=良好

P-62

第 23 号 一位代価表 下層路盤工 (施工幅1.8m以上)

全仕上り厚20cm 転圧回数1層
RC-40

(実務必携 P. 159, 160)

DW431-J02

100 m² 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0020
再生クラッシャーラン	RC-40	m ³	25.4			県単価・2019/04/01・42 100*0.2*(1+0.27) CT1557
振動ローラ(舗装用)運転	搭乗・コンバイン式 運転質量3~4t 排出ガス対策型(第1次基準値)	日				第 66 号一位代価表参照 J3945-J01
タンバ運転	質量60~80kg	日				第 57 号一位代価表参照 J3952-J02
諸雑費		式	1			#99
計		100 m ² 当り				
		1 m ² 当り				

DW431

[路盤種別]=下層路盤, [全仕上り厚(cm)]=20, [施工幅]=1.8m以上, [路盤材(m³)]=CT1557, [公害対策機種]=「基準書指定」, [低騒音機種]=基準書指定

P-63

第 24 号 一位代価表 発生土運搬費

D I D 区間有り 運搬距離2km 良好
ダンプトラック2t積 パック砂山積0.13m³

(実務必携 P. 166)

DW421-J04

10 m³ 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ダンプトラック運転	オート・ディーゼル 2t積級 タイヤ損耗(良好)	日				第 53 号一位代価表参照 J1601-J01
諸雑費		式	1			#99
計		10 m ³ 当り				
		1 m ³ 当り				

DW421

[運搬機種・積込機種]=ダンプトラック2t積 パック砂山積0.13m³, [D I D 区間]=有り, [運搬距離(km)]=2, [公害対策機種]=「基準書指定」, [低騒音機種]=基準書指定
[路面状態]=良好

P-64

第 25 号 一位代価表 As塊運搬費

D I D 区間有り 運搬距離2km 良好
ダンプ トラック2t 積 バック専用山積0.13m³(実務必携 P. 166, 167)
10 m³ 当り

DW4211-J04

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ダンプ トラック運転	オロート・ディーゼル 2t 積級 タイヤ損耗(良好)	日				第 53 号一位代価表参照 J1601-J01
諸雑費		式	1			#99
計	10 m ³ 当り					
	1 m ³ 当り					

DW4211

[運搬機種・積込機種]=ダンプ トラック2t 積 バック専用山積0.13m³, [D I D 区間]=有り, [運搬距離(km)]=2, [処理対象]=As塊, [公害対策機種]=「基準書指定」
[低騒音機種]=基準書指定, [路面状態]=良好

P-65

第 26 号 一位代価表 発生土運搬費

D I D 区間有り 運搬距離9.8km 良好
ダンプ トラック2t 積 バック専用山積0.13m³(実務必携 P. 166)
10 m³ 当り

DW421-J02

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ダンプ トラック運転	オロート・ディーゼル 2t 積級 タイヤ損耗(良好)	日				第 53 号一位代価表参照 J1601-J01
諸雑費		式	1			#99
計	10 m ³ 当り					
	1 m ³ 当り					

DW421

[運搬機種・積込機種]=ダンプ トラック2t 積 バック専用山積0.13m³, [D I D 区間]=有り, [運搬距離(km)]=9.8, [公害対策機種]=「基準書指定」, [低騒音機種]=基準書指定
[路面状態]=良好

P-66

※施工パッケージ単価
(II-1-②-19) DP020002-J02

第 27 号 一位代価表 土砂等運搬工(現場制約有)

人力積込 DID区間有
土砂(岩塊・玉石混り土含む) 10.5km以下

1 m³ 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価		P				/H
機械構成比		%	K	20.68		/H
ダンプ トラック	オントロード・ティ・イーグル 2t積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1	20.68		03-01-011-020-001 H16010T
労務構成比		%	R	70.43		/H
運転手(一般)		%	R1	70.43		県単価・2019/04/01・労務1 CR0150
材料構成比		%	Z	8.89		/H
燃料	1. 2号 パトロール給油	%	Z1	8.89		県単価・2019/04/01・102 CT6912
	1 m ³ 当り					

DP020002

<条件区分>

[土砂等発生現場]=現場制約あり, [積込機種・規格]=人力, [土質]=土砂(岩塊・玉石混り土含む), [DID区間の有無]=有り, [運搬距離]=10.5km以下, [路面状態]=良好

P-67

第 28 号 一位代価表 As塊運搬費

D I D区間有り 運搬距離9.8km 良好
ダンプ トラック2t 積 パック粒山積0.13m³

(実務必携 P. 166, 167)
10 m³ 当り

DW4211-J03

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ダンプ トラック運転	オントロード・ティ・イーグル 2t積級 タイヤ損耗(良好)	日				第 53 号一位代価表参照 J1601-J01
諸雑費		式	1			#99
計	10 m ³ 当り					
	1 m ³ 当り					

DW4211

[運搬機種・積込機種]=ダンプ トラック2t 積 パック粒山積0.13m³, [D I D区間]=有り, [運搬距離(km)]=9.8, [処理対象]=As塊, [公害対策機種]=基準書指定
[低騒音機種]=基準書指定, [路面状態]=良好

P-68

第 29 号 一位代価表 下層路盤工 (施工幅1.8m未満)

全仕上り厚40cm 転圧回数2層
RC-40

(実務必携 P. 159, 160)

DW431-J04

100 m² 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0020
再生クラッシャーラン	RC-40	m ³	50.8			県単価・2019/04/01・42 100*0.4*(1+0.27) CT1557
タンパ運転	質量60~80kg	日				第 57 号一位代価表参照 J3952-J02
諸雑費		式	1			#39
計	100 m ² 当り					
	1 m ² 当り					

DW431

[路盤種別]=下層路盤, [全仕上り厚(cm)]=40, [施工幅]=1.8m未満, [路盤材(m³)]=CT1557, [公害対策機種]="'基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定

P-69

※施工パッケージ単価
(IV-3-③-2) DP040036-J01

第 30 号 一位代価表 As舗装版切断工

As舗装厚15cm以下

1 m 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価		P				/H
機械構成比		%	K	6.53		/H
コンクリートカッタ	バキューム式・湿式 切削深20cm級 径56cm	%	K1	4.41	11-61-211-020-001 H02750T	
労務構成比		%	R	52.76		/H
特殊作業員		%	R1	18.31		県単価・2019/04/01・労務1 CR0010
土木一般世話役		%	R2	9.4		県単価・2019/04/01・労務1 CR0240
普通作業員		%	R3	7.95		県単価・2019/04/01・労務1 CR0020
材料構成比		%	Z	40.71		/H
コンクリートカッタ (ブレード)	径22インチ	%	Z1	38.03		県単価・2019/04/01・109 CM0019
ガソリン	レギュラー スタンド渡し	%	Z2	1.81		県単価・2019/04/01・102 CT6910
	1 m 当り					

P-70

DP040036
<条件区分>
[舗装版種別]=アスファルト舗装版, [アスファルト舗装版厚]=15cm以下

P-71

第 31 号 一位代価表 Co舗装版切断工

Co舗装厚15cm以下

1 m 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価		P				/H
機械構成比		%	K	5.22		/H
コンクリートカッタ	ハギューム式・湿式 切削深20cm級 径56cm	%	K1	3.53	11-61-211-020-001 HO2750T	
労務構成比		%	R	42.18		/H
特殊作業員		%	R1	14.62	県単価・2019/04/01・労務1 CR0010	
土木一般世話役		%	R2	7.52	県単価・2019/04/01・労務1 CR0240	
普通作業員		%	R3	6.36	県単価・2019/04/01・労務1 CR0020	
材料構成比		%	Z	52.6		/H
コンクリートカッタ (ブレード)	径22インチ	%	Z1	50.46	県単価・2019/04/01・109 CM0019	
ガソリン	レギュラー スタンド渡し	%	Z2	1.45	県単価・2019/04/01・102 CT6910	
	1 m 当り					

P-72

DP040036
<条件区分>
[舗装版種別]=コンクリート舗装版, [コンクリート舗装版厚]=15cm以下

P-73

第 32 号 一位代価表 コンクリート+アスファルト舗装版切断濁水処理工

ダンプトラック 2 t 積級 運搬3回

1 式 当り

D332A1-J01*

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版切断濁水運搬費	ダンプトラック 2 t 積級	回	3			県単価・2019/04/01・103 CZ0500
舗装版切断濁水処分費（東部地区）	アスファルト舗装版 処分費の対象	m3	0.169			県単価・2019/04/01・103 CZ0400-010
舗装版切断濁水処分費（東部地区）	コンクリート舗装版 処分費の対象	m3	0.12			県単価・2019/04/01・103 CZ0410-010
計	1式 当り					

P-74

第33号 一位代価表 フィルター層工

平均厚100~120mm未満

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価		P				/H
機械構成比		%	K	4.12		/H
振動ローラ(舗装用)	搭乗・コンバイン式 運転質量3~4t 排出ガス対策型(第1次基準値)	%	K1	3.75		08-41-312-040-001 H39453T
労務構成比		%	R	75.11		/H
普通作業員		%	R1	31.76		県単価・2019/04/01・労務1 CR0020
特殊作業員		%	R2	18.21		県単価・2019/04/01・労務1 CR0010
土木一般世話役		%	R3	9.38		県単価・2019/04/01・労務1 CR0240
運転手(特殊)		%	R4	8.94		県単価・2019/04/01・労務1 CR0140
材料構成比		%	Z	20.77		/H
再生砂	RC-10	%	Z1	20.06		県単価・2019/04/01・47 CT1558
軽油	1, 2号 バトロール給油	%	Z2	0.65		県単価・2019/04/01・102 CT6912

P-75

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
DP040014	1 m2 当り					

<条件区分>
[平均厚さ]=100mm以上120mm未満

P-76

第 34 号 一位代価表 下層路盤工 (施工幅1.8m未満)

全仕上り厚10cm 転圧回数1層
RC-40

(実務必携 P.159, 160)

DW431-J05

100 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0020
再生クラッシャーラン	RC-40	m3	12.7			県単価・2019/04/01・42 100*0.1*(1+0.27) CT1557
タンバ運転	質量60~80kg	日				第 57 号一位代価表参照 J3952-J02
諸雑費		式	1			#99
計	100 m2 当り					
	1 m2 当り					

DW431

[路盤種別]=下層路盤, [全仕上り厚(cm)]=10, [施工幅]=1.8m未満, [路盤材(m3)]=CT1557, [公害対策機種]='基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定

P-77

第 35 号 一位代価表 不陸整正工 (施工幅1.8m以上)

路盤材整正厚3cm

(実務必携 P.162)

DW432-J02

100 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0020
再生クラッシャーラン	RC-40	m3	3.81			県単価・2019/04/01・42 100*0.03*(1+0.27) K3028
振動ローラ(舗装用)運転	搭乗・コンバイン式 運転質量3~4t 排出ガス対策型(第1次基準値)	日				第 66 号一位代価表参照 J3945-J01
タンバ運転	質量60~80kg	日				第 57 号一位代価表参照 J3952-J02
諸雑費		式	1			#99
計	100 m2 当り					
	1 m2 当り					

DW432

[路盤材整正厚(cm)]=3, [施工幅]=1.8m以上, [補足材(m3)]=K3028, [公害対策機種]='基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定

P-78

第36号 一位代価表 透水性アスファルト舗装工

※施工パッケージ単価
幅1.4m以上 1層平均厚50mm 小型車
開粒度AS混合物(13)

(IV-1-③-11)

DP040015-J01

1 m² 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価		P				/H
機械構成比		%	K 4.63			/H
アスファルトイニッシャ	クローラ型 舗装幅1.4~3.0m	%	K1 3.25		10-03-011-030-001 H42240T	
振動ローラ(舗装用)	搭乗・コンバイン式 運転質量3~4t 排出ガス対策型(第1次基準値)	%	K2 1.08		08-41-312-040-001 H39453T	
労務構成比		%	R 29.2			/H
普通作業員		%	R1 11.48		県単価・2019/04/01・労務1 CR0020	
特殊作業員		%	R2 7.9		県単価・2019/04/01・労務1 CR0010	
運転手(特殊)		%	R3 5.19		県単価・2019/04/01・労務1 CR0140	
土木一般世話役		%	R4 2.72		県単価・2019/04/01・労務1 CR0240	
材料構成比		%	Z 66.17			/H
アスファルト混合物	開粒度AS混合物(13) 小型車 1層平均厚50	%	Z1 65.71		県単価・2019/04/01・53 CT2114	

P-79

※施工パッケージ単価
(IV-1-③-11) DP040015-J01
第36号付属1

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
軽油	1, 2号 パトロール給油	%	Z2 0.43			県単価・2019/04/01・102 CT6912
	1 m ² 当り					

DP040015

<条件区分>

[平均幅員]=1.4m以上, [1層当り平均仕上り厚(mm)]=50, [材料]=開粒度アスファルト混合物(13), [小型車割増の有無]=有り

P-80

第37号 一位代価表 補装工(人力施工)

車道及び路肩 仕上り厚50mm 小型車
密粒度AS混合物(13)

(実務必携 P.169)

DW440-J02

100 m² 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0240
特殊作業員		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0010
普通作業員		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0020
アスファルト混合物	密粒度AS混合物(13)	t	12.573			県単価・2019/04/01・54 100*50/1000*2.35*(1+0.07) CT2109
小型車割増(A.s)		t	12.573			県単価・2019/04/01・61 100*50/1000*2.35*(1+0.07) CT2140
アスファルト乳剤	PK-3 プライムコート用	L	126			県単価・2019/04/01・64 CT2209
振動ローラ(舗装用)運転	ハンド式 運転質量0.6~0.6t	日				第58号一位代価表参照 J3926-J01
振動コンパクタ運転	前進型 機械質量40~60kg	日				第59号一位代価表参照 J3963-J01
諸雑費		式	1			#09
計	100 m ² 当り					
	1 m ² 当り					

P-81

DW440-J02
第37号付属1

DW440

[歩道区分]=車道及び路肩, [仕上り厚(mm)]=50, [アスファルト混合物(t)]=CT2109, [小型車割増]=あり, [瀝青材料(L)]=CT2209, [砂散布]=なし
[公害対策機種]=「基準書指定」, [低騒音機種]=基準書指定

P-82

第38号 一位代価表 補装工(人力施工)

車道及び路肩 仕上り厚50mm 小型車
再生粗粒度AS混合物(20)

(実務必携 P.169)

DW440-J03

100 m² 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0240
特殊作業員		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0010
普通作業員		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0020
再生アスファルト混合物	再生粗粒度AS混合物(20)	t	12.573			県単価・2019/04/01・56 100*50/1000*2.35*(1+0.07) CT2171
小型車割増(A.s)		t	12.573			県単価・2019/04/01・61 100*50/1000*2.35*(1+0.07) CT2140
アスファルト乳剤	PK-3 プライムコート用	L	126			県単価・2019/04/01・64 CT2209
振動ローラ(補装用)運転	ハンド式 運転質量0.5~0.6t	日				第58号一位代価表参照 J3926-J01
振動コンクリート運転	前進型 機械質量40~60kg	日				第59号一位代価表参照 J3963-J01
諸雑費		式	1			#09
計	100 m ² 当り					
	1 m ² 当り					

P-83

DW440-J03
第38号付属1

DW440

[歩車道区分]=車道及び路肩, [仕上り厚(mm)]=50, [アスファルト混合物(t)]=CT2171, [小型車割増]=あり, [瀝青材料(L)]=CT2209, [砂散布]=なし
[公害対策機種]=基準書指定, [低騒音機種]=基準書指定

P-84

第39号 一位代価表 補装工(人力施工)

車道及び路肩 仕上り厚50mm 小型車
密粒度AS混合物(13)

(実務必携 P.169)

DW440-J04

100 m² 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0240
特殊作業員		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0010
普通作業員		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0020
アスファルト混合物	密粒度AS混合物(13)	t	12.573			県単価・2019/04/01・54 100*50/1000*2.35*(1+0.07) CT2109
小型車割増 (A s)		t	12.573			県単価・2019/04/01・61 100*50/1000*2.35*(1+0.07) CT2140
アスファルト乳剤	PK-4 タックコート用	L	43			県単価・2019/04/01・64 CT2210
振動ローラ(補装用)運転	ハンド式 運転質量0.5~0.6t	日				第58号一位代価表参照 J3926-J01
振動コンパクター運転	前進型 機械質量40~60kg	日				第59号一位代価表参照 J3963-J01
諸雑費		式	1			#09
計	100 m ² 当り					
	1 m ² 当り					

P-85

DW440-J04
第39号 付属 1

DW440

[歩車道区分]=車道及び路肩, [仕上り厚(mm)]=50, [アスファルト混合物(t)]=CT2109, [小型車割増]=あり, [瀝青材料(L)]=CT2210, [砂散布]=なし
[公害対策機種]基準書指定, [低騒音機種]基準書指定

P-86

第40号 一位代価表 コンクリート取壊し工

コンクリートブレーカー, 無筋

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
構造物とりこわし工 無筋構造物	人力施工 制約無 昼間 手間のみ	m3	1			第67号一位代価表参照 DSH026010-J01
諸雑費端数計上		式	1			#99
計	1 m3 当り					

※施工パッケージ単価

(II-2-25-7)

DP020101-J01

第41号 一位代価表 製運搬工(Co(無筋・鉄筋)構造物取壊し)

人力積込
DID区間有 2.0km以下

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価		P				/H
機械構成比		%	K	20.76		/H
ダンプトラック	オントロット・ディーゼル 2t積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1	20.76	03-01-011-020-001 H16010T	
労務構成比		%	R	70.71		/H
運転手(一般)		%	R1	70.71	県単価・2019/04/01・労務1 CR0150	
材料構成比		%	Z	8.53		/H
軽油	1, 2号 バトロール給油	%	Z1	8.53	県単価・2019/04/01・102 CT6912	
	1 m3 当り					

DP020101

<条件区分>

[製発生作業]=コンクリート(無筋・鉄筋)構造物とりこわし, [積込工法区分]=人力積込, [DID区間の有無]=有り, [運搬距離]=2.0km以下, [路面状態]=良好

第 42 号 一位代価表 コンクリート工(18-8-25(20) W/C指定無し)

無筋・鉄筋構造物 養生無 小型車

1 m³ 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価		P				/H
労務構成比		%	R 29.27			/H
普通作業員		%	R1 12.35			県単価・2019/04/01・労務1 CR0020
特殊作業員		%	R2 8.61			県単価・2019/04/01・労務1 CR0010
土木一般世話役		%	R3 6.4			県単価・2019/04/01・労務1 CR0240
材料構成比		%	Z 70.73			/H
生コンクリート(早強)	18-8-25(20) W/C指定無し 小型車	%	Z1 70.73			県単価・2019/04/01・29 CT1211
	1 m ³ 当り					

DP020102

<条件区分>

[構造物種別]=無筋・鉄筋構造物, [打設工法]=人力打設, [コンクリート規格]=24-12-25(20)(高炉), [養生工の種類]=養生無し, [現場内小運搬の有無]=無し
[小型車割増の有無]=有り

P-89

第 43 号 一位代価表 一般型枠工

鉄筋・無筋構造物

1 m² 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価		P				/H
労務構成比		%	R 100			/H
型わく工		%	R1 48.01			県単価・2019/04/01・労務1 CR0320
普通作業員		%	R2 24.37			県単価・2019/04/01・労務1 CR0020
土木一般世話役		%	R3 8.93			県単価・2019/04/01・労務1 CR0240
	1 m ² 当り					

DP020104

<条件区分>

[型枠の種類]=一般型枠, [構造物の種類]=鉄筋・無筋構造物

P-90

第 44 号 一位代価表 不陸整正工 (施工幅1.8m未満)

路盤材整正厚3cm

100 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0020
再生砂	RC-10	m3	3.81			県単価・2019/04/01・47 100*0.03*(1+0.27) K3036
タンバ運転	質量60~80kg	日				第 57 号一位代価表参照 J3952-J02
諸雜費		式	1			#99
計	100 m2 当り					
	1 m2 当り					

DW432

[路盤材整正厚(cm)]=3, [施工幅]=1.8m未満, [補足材(m3)]=K3036, [公害対策機種]='基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定

P-91

※施工パッケージ単価
(II-2-25-7) DP020101-J02

第 45 号 一位代価表 般運搬工(Co(無筋・鉄筋)構造物取壟し)

人力積込
DID区間有 10.5km以下

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価		P				/H
機械構成比		%	K 20.76			/H
ダンプ トラック	ダンプ・テイセッル 2t積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1 20.76		03-01-011-020-001 H16010T	
労務構成比		%	R 70.71			/H
運転手(一般)		%	R1 70.71		県単価・2019/04/01・労務1 CR0150	
材料構成比		%	Z 8.53			/H
軽油	1, 2号 パトロール給油	%	Z1 8.53		県単価・2019/04/01・102 CT6912	
	1 m3 当り					

DP020101

<条件区分>

[般発生作業]=コンクリート(無筋・鉄筋)構造物とりこわし, [積込工法区分]=人力積込, [DID区間の有無]=有り, [運搬距離]=10.5km以下, [路面状態]=良好

P-92

第 46 号 一位代価表 コンクリート工(24-8-25(20) W/C指定無し)

無筋・鉄筋構造物 養生無 小型車

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			/H
労務構成比		%	R	29.27		/H
普通作業員		%	R1	12.35		県単価・2019/04/01・労務1 CR0020
特殊作業員		%	R2	8.61		県単価・2019/04/01・労務1 CR0010
土木一般世話役		%	R3	6.4		県単価・2019/04/01・労務1 CR0240
材料構成比		%	Z	70.73		/H
生コンクリート(早強)	24-8-25(20) W/C指定無し 小型車	%	Z1	70.73		県単価・2019/04/01・29 CT1213
	1 m3 当り					

DP020102

<条件区分>

[構造物種別]=無筋・鉄筋構造物, [打設工法]=人力打設, [コンクリート規格]=24-12-25(20)(高炉), [養生工の種類]=養生無し, [現場内小運搬の有無]=無し

[小型車割増の有無]=有り

P-93

第 47 号 一位代価表 下層路盤工(施工幅1.8m以上)

全仕上り厚25cm 転圧回数2層
RC-40

(実務必携 P. 159, 160)
100 m2 当り

DW431-J06

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0020
再生クラッシャーラン	RC-40	m3	31.75			県単価・2019/04/01・42 100*0.25*(1+0.27) CT1557
振動ローラ(舗装用)運転	搭乗・コンバイン式 運転質量3~4t 排出ガス対策型(第1次基準値)	日				第 66 号一位代価表参照 J3945-J01
タンバ運転	質量60~80kg	日				第 57 号一位代価表参照 J3952-J02
諸雑費		式	1			#99
計	100 m2 当り					
	1 m2 当り					

DW431

[路盤種別]=下層路盤, [全仕上り厚(cm)]=25, [施工幅]=1.8m以上, [路盤材(m3)]=CT1557, [公害対策機種]="'基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定

P-94

第 48 号 一位代価表 上層路盤工 (施工幅1.8m以上)

全仕上り厚15cm 転圧回数1層
RM-40

(実務必携 P. 159, 160)

DW431-J07

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0020
再生粒度調整碎石	RM-40	m ³	19.05			県単価・2019/04/01・44 100*0.15*(1+0.27) CT9004
振動ローラ(舗装用)運転	搭乗・コンバイン式 運転質量3~4t 排出ガス対策型(第1次基準値)	日				第 66 号一位代価表参照 J3945-J01
タンバ運転	質量60~80kg	日				第 57 号一位代価表参照 J3952-J02
諸雑費		式	1			#99
計	100 m ² 当り					
	1 m ² 当り					

DW431
[路盤種別]=上層路盤, [全仕上り厚(cm)]=15, [施工幅]=1.8m以上, [路盤材(m³)]=CT9004, [公害対策機種]='基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定

P-95

第 49 号 一位代価表 区画線設置(溶融式)工(昼間)

実線20cm 制約無
塗布厚1.5mm(VI-1-①-1)
1000 m 当り

DSH003000-J01

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置(溶融式)	実線20cm 制約無 昼間 手間のみ	m	1,000			県単価・2019/04/01・142 CT10030
トラフィックペイント 溶融型	3種1号 ピンク 15~18 白	kg	760			県単価・2019/04/01・52 CT10010
ガラスピーツ	0.106~0.850mm	kg	33			県単価・2019/04/01・52 CT2012
接着用プライマー	区画線用	kg	33			県単価・2019/04/01・52 CT10025
軽油	1, 2号 パトロール給油	L	48			県単価・2019/04/01・102 CT6912
諸雑費		式	1			#99
計	1000 m 当り					
	1 m 当り					

DSH003000

[区画線工 昼間施工]=CT10030, [排水性舗装に施工]=しない, [未供用区間に施工]=しない, [塗布厚]=1.5mm, [塗料(kg)]=CT10010, [ガラスピーツ(kg)]=CT2012
[プライマー(kg)]=CT10025, [軽油(L)]=計上する, [公害対策機種]='基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定

全体補正(溶融式)

補正値=K1*K2

=1*1=1

K1:排水性舗装に施工する場合による補正係数 = 1

K2:未供用区間に施工する場合による補正係数 = 1

P-96

第 50 号 一位代価表 区画線設置（溶融式）工（昼間）

実線20cm 制約無
塗布厚1.5mm(VI-1-①-1)
1000 m 当り

DSH003000-J02

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置（溶融式）	実線20cm 制約無 昼間 手間のみ	m	1,000			県単価・2019/04/01・142 CT10030
トライフィックペイント 溶融型	3種1号 t'-z*15~18 黄 鉛・フリー	kg	760			県単価・2019/04/01・52 CT10016
ガラスビーズ	0.106~0.850mm	kg	33			県単価・2019/04/01・52 CT2012
接着用プライマー	区画線用	kg	33			県単価・2019/04/01・52 CT10025
軽油	1.2号 パトロール給油	L	48			県単価・2019/04/01・102 CT6912
諸雑費		式	1			#09
計	1000 m 当り					
	1 m 当り					

DSH003000

[区画線工（昼間施工）]=CT10030, [排水性舗装に施工]=しない, [未供用区間に施工]=しない, [塗布厚]=1.5mm, [塗料(kg)]=CT10016, [ガラスビーズ(kg)]=CT2012
[プライマー(kg)]=CT10025, [軽油(L)]=計上する, [公害対策機種]=「基準書指定」, [低騒音機種]=「基準書指定」

全体補正(溶融式)

補正值=K1*K2

=1*1=1

K1:排水性舗装に施工する場合による補正係数 = 1

K2:未供用区間に施工する場合による補正係数 = 1

P-97

Z0006-B00

第 51 号 一位代価表 仮設材運搬費

1 t 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
仮設材料運搬基本単価	距離10kmまで 製品長12m以内	t	1			実務必携・平成30年度版・13 P0059
仮設材運搬用積み卸し費	基地～現場又は現場～基地	t	1			実務必携・平成30年度版・14 P0056
諸雑費端数計上		式	1			#09
計	1 t 当り					

P-98

第 52 号 一位代価表 小型パック車(クローラ型)運転

標準型 山積0.13/平積0.10m³
排出ガス対策型(第1次基準値)

1 日 当り

J1156-J01

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手(特殊)		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0140
軽油	1, 2号 パトロール給油	L	25			県単価・2019/04/01・102 CT6912
小型パック車(クローラ型)	標準型 山積0.13/平積0.10m ³ 排出ガス対策型(第1次基準値)	供用日				02-01-112-010-001 H11560T
諸雜費		式	1			#99
計	1 日 当り					

機一 18, [労務数量]=1, [燃料消費量]=25, [損料数量]=1.8, [公害対策機種] = '基準書指定', [低騒音機種] = '基準書指定'

P-99

第 53 号 一位代価表 ダンプトラック運転

オントド・ディーゼル 2t積級
タイヤ損耗(良好)

1 日 当り

J1601-J01

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手(一般)		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0150
軽油	1, 2号 パトロール給油	L	22			県単価・2019/04/01・102 CT6912
ダンプトラック	オントド・ディーゼル 2t積級	供用日				03-01-011-020-001 H16010T
タイヤ損耗費	2~3t 良好	供用日				建設機械等損料表36 HB2010T
諸雜費		式	1			#99
計	1 日 当り					

機一 22, [労務数量]=1, [燃料消費量]=22, [損料数量]=1.22, [公害対策機種] = '基準書指定', [低騒音機種] = '基準書指定', [路面状態] = 良好

P-100

第 54 号 一位代価表 床掘り工

土砂 現場制約有

1 m³ 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価		P				/H
労務構成比		%	R 100			/H
普通作業員		%	R1 100			県単価・2019/04/01・労務1 CR0020
	1 m ³ 当り					

DP020012

<条件区分>
[土質]=土砂, [施工方法]=現場制約あり

P-101

第 55 号 一位代価表 人力積込工

土砂

1 m³ 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価		P				/H
労務構成比		%	R 100			/H
普通作業員		%	R1 100			県単価・2019/04/01・労務1 CR0020
	1 m ³ 当り					

DP020008

<条件区分>
[土質等区分]=土砂

P-102

第 56 号 一位代価表 タンパ運転

質量60~80kg

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
特殊作業員		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0010
ガソリン	レギュラー スタンド渡し	L	5			県単価・2019/04/01・102 CT6910
タンパ 及びランマ(ランマ)賃料	質量60~80kg	供用日				県単価・2019/04/01・122 H39520R
諸雑費		式	1			#99
計	1 日 当り					

機一 3 1, [労務数量]=1, [燃料消費量]=5, [賃料数量]=1.38, [公害対策機種]='基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定

第 57 号 一位代価表 タンパ運転

質量60~80kg

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
特殊作業員		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0010
ガソリン	レギュラー スタンド渡し	L	4			県単価・2019/04/01・102 CT6910
タンパ 及びランマ(ランマ)賃料	質量60~80kg	供用日				県単価・2019/04/01・122 H39520R
諸雑費		式	1			#99
計	1 日 当り					

機一 3 1, [労務数量]=1, [燃料消費量]=4, [賃料数量]=1.61, [公害対策機種]='基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定

第 58 号 一位代価表 振動ローラ(舗装用)運転

ハンドガバ式 運転質量0.5~0.6t

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
特殊作業員		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0010
軽油	1. 2号 パトロール給油	L	3			県単価・2019/04/01・102 CT6912
振動ローラ(舗装用)	ハンドガバ式 運転質量0.5~0.6t	供用日				08-41-100-006-001 H39260T
諸経費		式	1			#99
計	1 日 当り					

機一23, [労務数量]=1, [燃料消費量]=3, [損料数量]=1.23, [公害対策機種]='基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定

第 59 号 一位代価表 振動コンパクタ運転

前進型 機械質量40~60kg

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
特殊作業員		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0010
ガソリン	レギュラー スタンド渡し	L	5			県単価・2019/04/01・102 CT6910
振動コンパクタ	前進型 機械質量40~60kg	供用日				08-70-100-060-001 H39630T
諸経費		式	1			#99
計	1 日 当り					

機一23, [労務数量]=1, [燃料消費量]=5, [損料数量]=1.4, [公害対策機種]='基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定

第 60 号 一位代価表 軽量鋼矢板たて込み工(両側分)

機械施工 矢板長2.5m

100 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0240
特殊作業員		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0010
普通作業員		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0020
小型バックホウ運転	標準型 山積0.13/平積0.10m ³ 排出ガス対策型(第1次基準値)	h				第 68 号一位代価表参照 DW012A2-J01
諸雑費		式	1			#99
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

DW012

[バックホウの規格]=^aムーテ型 山積0.13m³(平積0.10m³)、[矢板長]=2.5m、[公害対策機種]=^b基準書指定、[低騒音機種]=基準書指定

第 61 号 一位代価表 軽量鋼矢板引抜工(両側分)

機械施工 矢板長2.5m

100 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0240
特殊作業員		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0010
普通作業員		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0020
トラックレンジ料	トラックレンジ・油圧伸縮ジブ型 4.9t吊	日				県単価・2019/04/01・121 HJ7910R
諸雑費		式	1			#99
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

DW013

[矢板長]=2.5m、[公害対策機種]=^b基準書指定、[低騒音機種]=基準書指定

第 62 号 一位代価表 軽量金属製支保設置撤去工

2段 3.5m以下 軽量金属腹起し材
水圧式パイプサポート

(実務必携 P. 42)

DW018-J01

100 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0240
とび工		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0060
普通作業員		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0020
諸雑費		式	1			#99
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

DW018

[作業区分]=設置撤去, [腹起し材]=軽量金属腹起し材, [切梁材]=水圧式パイプサポート, [設置段数]=2段 3.5m以下, [公害対策機種]='基準書指定'
[低騒音機種]=基準書指定

P-109

第 63 号 一位代価表 軽量鋼矢板たて込み工(両側分)

機械施工 矢板長2.0m

100 m 当り

DW012-J02

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0240
特殊作業員		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0010
普通作業員		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0020
小型バックホウ運転	標準型 山積0.13/平積0.10m ³ 排出ガス対策型(第1次基準値)	h				第 68 号一位代価表参照 DW012A2-J01
諸雑費		式	1			#99
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

DW012

[バックホウの規格]=クローラ型 山積0.13m³(平積0.10m³), [矢板長]=2.0m, [公害対策機種]='基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定

P-110

第 64 号 一位代価表 軽量鋼矢板引抜工（両側分）

機械施工 矢板長2.0m

(実務必携 P. 39)

DW013-J02

100 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0240
特殊作業員		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0010
普通作業員		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0020
トラッククレーン賃料	トラッククレーン・油圧伸縮ジブ型 4.9t吊	日				県単価・2019/04/01・121 H17910R
諸雑費		式	1			#99
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

DW013

[矢板長]=2.0m, [公害対策機種]=「基準書指定」, [低騒音機種]=基準書指定

P-111

第 65 号 一位代価表 軽量金属製支保設置撤去工

1段 2.0m以下 軽量金属腹起し材
水圧式パイプサポート(実務必携 P. 42)
100 m 当り

DW018-J02

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0240
とび工		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0060
普通作業員		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0020
諸雑費		式	1			#99
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

DW018

[作業区分]=設置撤去, [腹起し材]=軽量金属腹起し材, [切梁材]=水圧式パイプサポート, [設置段数]=1段 2.0m以下, [公害対策機種]=「基準書指定」
[低騒音機種]=基準書指定

P-112

第 66 号 一位代価表 振動ローラ(舗装用)運転

搭乗・コンバイン式 運転質量3~4t
排出ガス対策型(第1次基準値)

J3945-J01

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手(特殊)		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0140
軽油	1. 2号 パトロール給油	L	13			県単価・2019/04/01・102 CT6912
振動ローラ(舗装用)賃料	搭乗・コンバイン式 運転質量3~4t 排出ガス対策型(第1次基準値)	供用日				県単価・2019/04/01・119 H39453R
諸雑費		式	1			#99
計	1 日 当り					

機=2.8, [労務数量]=1, [燃料消費量]=13, [賃料数量]=1.52, [公害対策機種]='基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定

P-113

第 67 号 一位代価表 構造物とりこわし工 無筋構造物

人力施工 制約無 昼間 手間のみ

(VI-1-④-1)

DSH026010-J01

1 m³ 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
無筋構造物	人力施工 制約無 昼間 手間のみ	m ³	1			県単価・2019/04/01・164 CT10631
諸雑費		式	1			#99
計	1 m ³ 当り					

DSH026010
[構造物とりこわし工 無筋構造物 昼間施工(m³)]=CT10631, [公害対策機種]='基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定

P-114

第 68 号 一位代価表 小型バックホウ運転

標準型 山積0.13/平積0.10m³
排出ガス対策型(第1次基準値)

(実務必携 P. 149)

DW012A2-J01

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手(特殊)		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0140
軽油	1. 2号 バトロール給油	L	25			県単価・2019/04/01・102 CT6912
小型バックホウ(クローラ型)	標準型 山積0.13/平積0.10m ³ 排出ガス対策型(第1次基準値)	供用日				建設機械等損料表(15)欄 02-01-112-010-001 H11560T
諸雑費		式	1			#99
	1 日 当り					+00
	1 h 当り				1 日 当り 6.5 h	#90

DW012A2

[公害対策機種]=「基準書指定」, [低騒音機種]=基準書指定

見 積 參 考 資 料

単独基礎単価一覧表

2019年4月1日

コード	名称	規格	単位	単価	区	構成比	摘要
Y0001	钢管外面塗装除去工	400A L=2.0m 管体全周	箇所	84,670	99		局独自
Y0002	防食技師		人	34,200	5		局独自
Y0003	作業車両		台	8,100	99		局独自
Y0004	計器損料		式	10,800	8		局独自
Y0005	钢管外面塗装除去工	800A L=2.0m 管体半周	箇所	95,310	99		局独自
Y0006	ジョイントコート(熱収縮タブ)	Φ800	個	26,000	1		局独自
Y0007	修理費及び損耗費(軽量鋼矢板)	軽作業、使用回数3回、矢板長2.0m	t	12,000	99		局独自
Y0008	修理費及び損耗費(軽量鋼矢板)	軽作業、使用回数4回、矢板長2.5m	t	15,000	99		局独自
Y0009	軽量アルミ製腹起こし材 基本料	70~80mm L=3.0m	本	500	99		局独自
Y0010	軽量アルミ製腹起こし材 貨料	70~80mm L=3.0m 貨料日数30日	本	1,440	99		局独自
Y0011	軽量アルミ製切梁材 貨料	水圧式770≤W≤1300(程度) 貨料日数30日	本	3,300	99		局独自
Y0012	軽量アルミ製切梁材 貨料	水圧式1500≤W≤2200(程度) 貨料日数30日	本	6,150	99		局独自
Y0013	水圧式手動ポンプ 貨料	タック水量15L~19L 貨料日数30日	台	4,620	99		局独自
Y0014	土壤抵抗		試料	4,140	99		局独自
Y0015	酸化還元電位		試料	6,120	99		局独自
Y0016	土のpH値		試料	3,420	99		局独自
Y0017	含水比		試料	4,680	99		局独自

P-1

単独基礎単価一覧表

2019年4月1日

コード	名称	規格	単位	単価	区	構成比	摘要
Y0018	硫黄含有率		試料	25,200	99		局独自
Y0019	硫化物定性		試料	12,060	99		局独自
Y0020	水のpH値		試料	1,620	99		局独自
Y0021	硫酸イオン含有率		試料	6,120	99		局独自
Y0022	塩素イオン含有率		試料	6,120	99		局独自
Y0023	蒸発残留物		試料	8,820	99		局独自
Y0024	酸度		試料	4,500	99		局独自
Y0025	アルカリ度		試料	5,220	99		局独自
Y0026	既設門扉撤去・設置	材工共 基礎工含む 既設門扉再使用	式	184,500	99		局独自

P-2

資 材 調 書

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
シュリンクチューブ及びシート	φ400	個	20			局独自 A1556
ジョイントコート(熱収縮タイプ)	φ800	個	8			局独自 Y0006
〈一般資材(二次製品)計〉						+00
トラフィックペイント 溶融型	3種1号 ピーグ*15~18 白	kg	3.8			県単価・2019/04/01・52 CT10010
トラフィックペイント 溶融型	3種1号 ピーグ*15~18 黄 鉛・フリー	kg	3.8			県単価・2019/04/01・52 CT10016
接着用プライマー	区画線用	kg	0.33			県単価・2019/04/01・52 CT10025
再生クラッシャーラン	RC-40	m ³	16.891			県単価・2019/04/01・42 CT1557
ガラスピーブ	0.106~0.850mm	kg	0.33			県単価・2019/04/01・52 CT2012
アスファルト乳剤	PK-3 プライマー用	L	86.94			県単価・2019/04/01・64 CT2209
アスファルト乳剤	PK-4 タックコート用	L	13.33			県単価・2019/04/01・64 CT2210
ガソリン	レギュラー スタンド渡し	L	14.84			県単価・2019/04/01・102 CT6910

P-1

付属 1

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
軽油	1.2号 バトロール給油	L	368.79			県単価・2019/04/01・102 CT6912
再生粒度調整碎石	RM-40	m ³	1.524			県単価・2019/04/01・44 CT9004
再生クラッシャーラン	RC-40	m ³	2.477			県単価・2019/04/01・42 K3028
再生砂	RC-10	m ³	0.076			県単価・2019/04/01・47 K3036
〈一般資材(非二次製品)計〉						+00
アスファルト混合物	密粒度AS混合物(13)	t	11.06			県単価・2019/04/01・54 CT2109
小型車割増(A s)		t	18.36			県単価・2019/04/01・61 CT2140
再生アスファルト混合物	再生密粒度AS混合物(13)	t	5.78			県単価・2019/04/01・57 CT2169
再生アスファルト混合物	再生粗粒度AS混合物(20)	t	1.51			県単価・2019/04/01・56 CT2171
〈As合材計〉						+00
舗装版切断濁水処分費(東部地区)	アスファルト舗装版 処分費の対象	m ³	0.169			県単価・2019/04/01・103 CZ0400-010

P-2

付属 2

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版切断濁水処分費（東部地区）	コンクリート舗装版 処分費の対象	m3	0.12			県単価・2019/04/01・103 CZ0410-010
廃材処理料（東部地区）	AS板 処分費の対象	m3	8.3			県単価・2019/04/01・103 K0024
廃材処理料（東部地区）	無筋C0板 処分費の対象	m3	1.6			県単価・2019/04/01・103 K0026
廃材処理料（東部地区）	路盤材（上層・下層） 処分費の対象	m3	14.8			県単価・2019/04/01・103 K0028
土砂受入処分料（確認処分）	普通土砂、2t車 地山 処分費の対象	m3	0.2			局独自 K0030-200
改良土	(昼間) 20~0mm 処分費の対象	m3	30.375			局独自 K3023
改良土	(昼間) 40~0mm 処分費の対象	m3	29.875			局独自 K3024
《処分費等計》						+00
《二次製品計》						+00

位置図



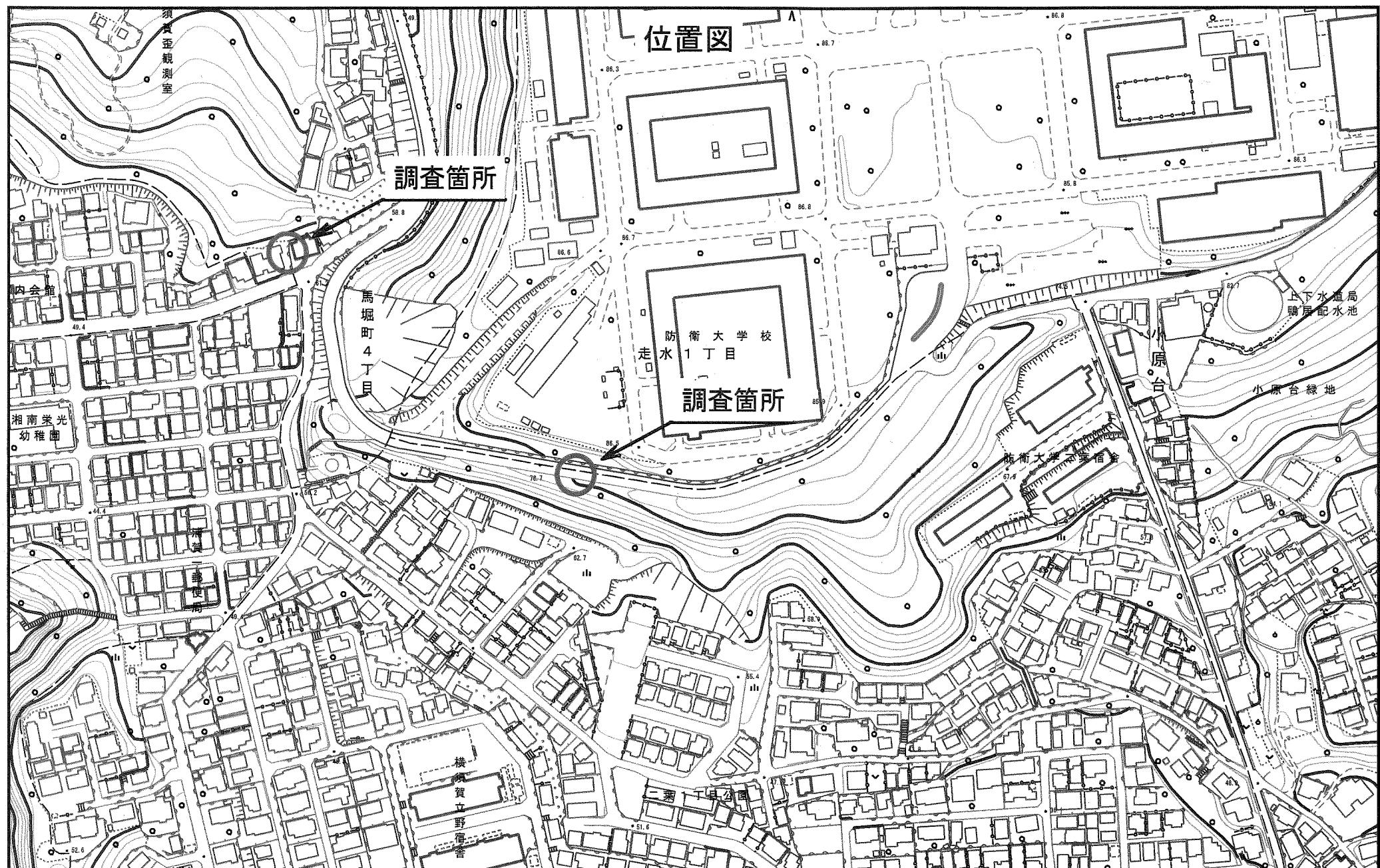
工事名：揚水管管体調査工事

工事場所：横須賀市湘南鷹取4丁目6番先 ほか7箇所

位置図



工事名：揚水管管体調査工事
工事場所：横須賀市湘南鷹取4丁目6番先 ほか7箇所



工事名：揚水管管体調査工事
工事場所：横須賀市湘南鷹取4丁目6番先 ほか7箇所